

2026 年 6 月 11 日
文学部教授会

文学部日本語教員養成プログラム運営委員会
委員長 殿

文学部長

令和 7 年度 文学部日本語教員養成プログラムにおける自己点検・評価について

令和 8 年 5 月 14 日文学部教授会で承認された「令和 7 年度日本語教員養成プログラム事業報告（案）」（資料 No.15）に基づき、当該プログラム実施における適切性について審議した結果、適切であると認めます。

以上

2026 年 5 月 7 日

文学部日本語教員養成プログラム運営委員会

令和 7 年度 日本語教員養成プログラム(経過措置) 事業報告

総括

- ・「必須の教育内容 50 項目に対応した日本語教員養成課程等の確認公募に係る確認結果について（通知）」（6 教日語第 21 号、令和 6 年 8 月 2 日付）において、令和 6 年 4 月 1 日以降の「文学部日本語教員養成プログラム」が日本語教員養成課程等の審査基準を満たすことが確認された。
- ・令和 7 年 4 月から経過措置学生 16 名が本プログラムを履修している。

I 養成課程

1 養成課程の内容

- (1) 養成課程の教授体制
経過措置学生に対し「別紙 1」のとおり実施した。
- (2) 養成課程の施設及び設備
経過措置学生に対し「別紙 2」のとおり実施した。

2 養成課程の実施期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

3 養成課程の受講者数

16 名

4 養成課程の修了者数及び修了時の成績

該当者無し。経過措置学生は本プログラムを履修中であるため、修了者はいない。

5 養成課程の実施状況の評価

経過措置学生については、現在順調にプログラム科目を履修中であり、25 単位修得見込みである。

II 実践研修

1 実践研修の内容

経過措置学生は令和 8 年度に 4 機関（「ヒューマンアカデミー株式会社」「サラマンカ大学日西センター」「千代田国際語学院」「友国際文化学院」）のうち 1 機関で、教壇実習を行う予定である。

なお、4 機関のうち 2 機関（「ヒューマンアカデミー株式会社」「友国際文化学院」）は認定日本語教育機関として文部科学省より認定されており、もう 2 機関（「サラマンカ大学日西センター」「千代田国際語学院」）は教授体制や施設・設備について機関状況を確認済みの協定校である。

2 実践研修の実施期間

実施せず。

3 実践研修の受講者数

該当者無し。経過措置学生 16 名は令和 8 年度（令和 8 年 6 月～令和 9 年 3 月）に実践研修を実施予定。

4 実践研修の修了者数及び修了時の成績

該当者無し。経過措置学生は令和 8 年度に実践研修を実施予定であるため、修了者はいない。

5 実践研修の実施状況の評価

該当者無し。令和 8 年度に実践研修を実施予定であるため、評価は発生しない。

6 実践研修機関が必要と認める事項

特に無し。

以上

令和 7 年度 日本語教員養成プログラム（認可後） 事業報告

総括

- ・文部科学省より令和 7 年 5 月 30 日に登録実践研修機関 B0241312・登録日本語教員養成機関 C0241314 として登録。
- ・同年 9 月 15 日から事務を開始。
- ・認可後の本プログラムで履修可能になるのは令和 8 年度以降であるため、当該プログラムで履修した学生はいない。

I 養成課程

1 養成課程の内容

- (1) 養成課程の教授体制
該当者無し。
- (2) 養成課程の施設及び設備
該当者無し。

2 養成課程の実施期間

認可後の本プログラムで履修可能になるのは令和 8 年度以降であるため、当該プログラムで履修した学生はいない。

3 養成課程の受講者数

該当者無し。

4 養成課程の修了者数及び修了時の成績

該当者無し。

5 養成課程の実施状況の評価

該当者無し。

II 実践研修

1 実践研修の内容

- (1) 実践研修の教授体制
該当者無し。
- (2) 実践研修の施設及び設備
該当者無し。

2 実践研修の実施期間

該当者無し。

3 実践研修の受講者数

該当者無し。

4 実践研修の修了者数及び修了時の成績

該当者無し。

5 実践研修の実施状況の評価

該当者無し。

6 実践研修機関が必要と認める事項

特に無し。

以上

令和 6 年度入学生用

文学部日本語教員養成プログラム履修の手引き

(2026.1.24)

1. 文学部日本語教員養成プログラムについて

大妻女子大学文学部には、外国人に日本語を教える教員を養成するプログラムとして、「文学部日本語教員養成プログラム」を設置しています。

日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科の異なりにかかわらず、所定の科目を履修することにより、本学の定めによる文学部日本語教員養成プログラムの修了証の交付を受けることができます。

(本プログラムは文部科学省に「登録実践研修機関B0241312」・「登録日本語教員養成機関C0241314」として登録されました(令和7年5月30日)。これにより登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関の課程修了者として、国家資格「登録日本語教員」に必要な試験の一部が免除されます。)

文部科学省:日本語教員の国家資格取得の方法について

https://www.mext.go.jp/content/20240524-mxt_nihongo02-000034832_1.pdf文

科省認可教員養成課程単位修得(実習を含む)→日本語教員基礎試験免除

日本語教員応用試験合格→ 資格取得

2. プログラム設置の目的

グローバル化の進む現代社会では、国内における日本語教育を必要とする学習者が全国に広がり、また、海外における学習者数も増加しています。その学習者は「留学生」「就労者」「生活者」等多様化しており、必要とされる教育内容にも変化が生じています。このような新しい状況に対応する、質の高い日本語教員の育成が求められています。

文学部は、日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科を擁し、言語運用能力と人間性の錬磨を共通の教育目標としています。3 学科の専門的知識に加え、日本語教育に関する知識を学修することにより、現代社会の「多様化した日本語教育」に必要な、質の高い日本語教員を養成することを目指します。

3. 履修の資格

本プログラムを履修することができる者は、文学部日本文学科・英語英文学科・コミュニケーション文化学科に在籍する2年次生から4年次生とします。

卒業時までにはプログラム修了要件単位を修得できなかった場合には、残りの科目を科目等履修生として履修することができます。

4. 定員について

本プログラムの収容定員は90名です。

1学年につき、収容定員を30名とし、2年次生から4年次生までの履修生を90名とします。(編入生も履修可能です。)希望者が定員を超える場合、履修申請を行う年度の後期までの通算GPAおよび申請理由により選抜します。

5. 履修手続きについて

本プログラムを履修するためには、以下の手続きが必要です。

- ① 1年次生(または 2 年次生)の後期(1 月予定)の、文学部日本語教員養成プログラム履修ガイダンスに出席すること。ガイダンスで履修申請書を配布します。日本語教員養成プログラムの履修を申請する理由も書いてもらいます。
- ② ガイダンス後、指定日時(1 月末)までに履修申請書を提出すること。
- ③ 履修生の確定通知を受けた後、指定日時(2 月末)までに次年度の履修費を納め、履修申請をすること。
- ④ 履修 2 年目以降は、前年度末(3 月予定)のガイダンスに出席し、指定日時(1月中旬予定)までに次年度の履修費を納め、履修継続申請をすること。
- ⑤ 最初の履修申請(①～③)は、原則として 1 年次または 2 年次に行うこと。

※ 3 年次申請の場合は、卒業と同時にプログラムを修了することはできません。卒業時までに取り得ていなかった科目は、科目等履修生として履修することも可能です。

令和 7 年度 最初の履修申請スケジュールは以下のとおりです。

(1) ガイダンス	2026年1月24日(土)4限
(2) 履修申請書受付期間	2026年1月26日(月)～1月29日(木)
(3) 履修費納付期間	2026年2月20日(金)～2月27日(金) (※土日祝を除く)

6. 費用について

- (1) 本プログラムの履修のために、合計で 14000 円の履修費を納める必要があります。次年度の履修費を、指定する期日までに納めてください。

履修申請の学年により、以下の2種類の納付方法になります。

2年次から履修する場合： 2年次 4,500円 3年次 4,500円 4年次 5,000円

3年次から履修する場合： 3年次 7,000円 4年次 7,000円

年度途中で履修放棄をした場合、当該年度の履修費は返還できません。

- (2) 以上とは別に、教育実習費(実費)を納める必要がある場合があります。教育実習費は実習機関により異なります。国内の場合は0 ～ 60,500円、国外(スペイン・サラマンカ大学)の場合は 10,000 円です。この他に、テキスト代、実習場所までの旅費交通費、場所によっては宿泊費などが必要です。

7. 履修科目と単位について

(1) 文学部日本語教員養成プログラムカリキュラム表は次の通りです。

文学部日本語教員養成プログラムカリキュラム表

◇＝プログラム独自科目 ※＝必修科目 ★＝実践研修機関の科目

	開講科目	担当教員
A. 言語学	ことばの仕組みと働き※〈文学部共通〉 英語と日本語〈文学部共通〉 英語学(語法・文法)〈英オープン〉	池頭純子 原功 高橋寛
B. 日本語学	◇日本語学要説※ 日本語学概説〈日文限定〉※ 日本語学講義〈日文限定〉	三谷絵里 天野みどり 天野みどり
C. 日本語教育	◇日本語教授法Ⅰ※ ◇日本語教授法Ⅱ ◇日本語教材研究Ⅰ※ ◇日本語教材研究Ⅱ ◇日本語教育実習Ⅰ※ ◇日本語教育実習Ⅱ※★	中尾桂子 三谷絵里 中尾桂子 中尾桂子 中尾桂子 中尾桂子
D. 言語と社会・文化・地域	◇日本語教育学特殊講義(社会と言語)※ 比較文学〈日文オープン〉 伝承と文学〈日文オープン〉 日本の思想 A〈日文オープン〉 日本の思想 B〈日文オープン〉 日本の美術〈日文オープン〉 日本の芸能と文化〈日文オープン〉 日本の映像メディア〈日文オープン〉 日本の歴史と社会〈日文オープン〉 日本の歴史と文化〈日文オープン〉 日本語の歴史〈文学部共通〉 江戸・東京の文化〈文学部共通〉 日本文化とアジア〈文学部共通〉 日本語と社会〈文学部共通〉 社会言語学〈コミ文選択・コミ文限定〉 国際関係論〈コミ文オープン〉 欧米文化論〈コミ文オープン〉 言語文化論〈コミ文オープン〉	塩田雄大 金ヨンロン 倉住薫 木戸雄一 橋本ゆかり 小倉絵里子 岸川雅範 友添太貴 大内瑞恵 深澤瞳 大倉浩 牧野悟資 金ヨンロン 塩田雄大 横山晶子 松田春香 榎本恵子 吉田光浩
E 言語と心理・コミュニケーション	◇日本語教育学特殊講義(心理と言語)※ ◇日本語教育学演習Ⅰ ◇日本語教育学演習Ⅱ 日本語学演習Ⅰ〈日文選択必修・日文限定〉 言語・文化コミュニケーションⅠ 〈コミ文選択・コミ文限定〉 言語・文化コミュニケーションⅡ 〈コミ文選択・コミ文限定〉 表象文化コミュニケーションⅠ 〈コミ文選択・コミ文限定〉 表象文化コミュニケーションⅡ 〈コミ文選択・コミ文限定〉	鈴木綾乃 三谷絵里 三谷絵里 天野みどり 吉田光浩 吉田光浩 榎本恵子 榎本恵子

- ・ 同科目名の授業が複数開講されている場合、必ず上記担当教員の授業科目を履修してください。
- ・ 「日本語教育実習Ⅱ」は「実践研修機関」の科目、その他の39科目は「日本語教員養成機関」の科目です。以下、両者を含めて「プログラムの科目」とします。

(2) プログラムの必修科目・選択必修科目・選択科目は以下の通りです。

必修科目	カリキュラム表中「※」付き太字で示した、以下の 8 科目、計 14 単位 ことばの仕組みと働き※ (2 単位) 日本語学要説または日本語学概説〈日文必修・日文限定〉※ (2 単位) 日本語教授法 I※ (2 単位) 日本語教材研究 I※ (2 単位) 日本語教育実習 I※ (1 単位) 日本語教育実習 II※★ (1 単位) 日本語教育学特殊講義(社会と言語)※ (2 単位) 日本語教育学特殊講義(心理と言語)※ (1 単位)
選択必修科目	カリキュラム表中の 5 分野のうち、「C. 日本語教育」、「D. 言語と社会・文化・地域」、 「E. 言語と心理・コミュニケーション」の各 3 分野から、最低 1 科目、計 6 単位
選択科目	カリキュラム表の全科目から、最低 3 科目、計 6 単位

計 26 単位

以上の合計 26 単位の修得を本プログラム修了要件とします。

(3) 履修上の注意

- ・ プログラム履修申請者以外は、「日本語教員養成プログラム独自科目」を履修することはできません。
- ・ ◇を付した、「文学部日本語教員養成プログラム独自科目」11 科目は、1 年間の履修登録単位数の上限を超えて登録できます。
- ・ 「文学部日本語教員養成プログラム独自科目」11 科目のうち、2 科目 4 単位を全学共通科目の選択科目(卒業要件単位)に含めることができます。
- ・ 「日本語教育実習 II」は、以下の 6 科目の単位を修得しなければ履修できません。

「日本語教育実習 II」の履修前に単位修得が必要な科目

日本語学要説 または 日本語学概説〈日文必修・日文限定〉	(2 単位)
日本語教授法 I	(2 単位)
日本語教材研究 I	(2 単位)
日本語教育学特殊講義(社会と言語)	(2 単位)
日本語教育学特殊講義(心理と言語)	(2 単位)
日本語教育実習 I	(1 単位)

- ・ 履修登録前の年度中(履修初年次生は 1 月予定、更新年次生は 2 月予定)に行われる文学部日本語教員養成プログラム履修ガイダンスに、必ず出席してください。
- ・ 更新年次で、次年度に「日本語教育実習 II」を履修する予定の学生は、9 月(予定)に行われる「文学部日本語教員養成プログラム教育実習ガイダンス」に、出席します。

8. 発行される修了証

- ・ 本プログラムでは、プログラム修了要件単位 26 単位を修得した学生には、卒業時に「文学部日本語教員養成プログラム修了証」を交付します。

- ・ 7-(3)の「日本語教育実習Ⅱ」の履修前に単位修得が必要な科目」の単位を修得した者には、「養成課程修了見込み証明書」を発行します。

9. 文学部日本語教員養成プログラム履修モデル

(1) 日本文学科例(2年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

2年次	3年次	4年次
※日本語学概説(1年次) ※日本語教授法Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語)	○日本語教授法Ⅱ ○日本語学演習Ⅰ ※ことばの仕組みと働き ※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★	△比較文学 △日本語と社会 △日本の美術 ○日本語の歴史

※ 8単位が卒業要件単位にプラスされた例

(2) 日本文学科例(3年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

3年次	4年次
※日本語学概説(1年次) ※日本語教授法Ⅰ ○日本語教授法Ⅱ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語) ○日本語学演習Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ○日本語の歴史	※ことばの仕組みと働き ※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★ △比較文学 △日本語と社会 △日本の美術

※ 8単位が卒業要件単位にプラスされた例

(3) 英語英文学科例(2年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

2年次	3年次	4年次
※日本語学要説 ※日本語教授法Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語)	※ことばの仕組みと働き ※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★ ○日本語教材研究Ⅱ ○日本語教育学演習Ⅰ	○日本語の歴史 △日本語と社会 △英語と日本語 △英語学(語法・文法)

※ 12単位が卒業要件単位にプラスされた例

(4) 英語英文学科例(3年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

3年次	4年次
※日本語学要説 ※日本語教授法Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語) ※ことばの仕組みと働き ○日本語教材研究Ⅱ ○日本語教育学演習Ⅰ	※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★ ○日本語の歴史 △日本語と社会 △英語と日本語 △英語学(語法・文法)

※ 12単位が卒業要件単位にプラスされた例

(5) コミュニケーション文化学科例(2 年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

2年次	3年次	4年次
※日本語学要説 ※日本語教授法Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語) △言語・文化コミュニケーションⅠ	※ことばの仕組みと働き ※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★ ○日本語教材研究Ⅱ ○日本語教育学演習Ⅰ	○言語文化論 △日本語と社会 △社会言語学

※ 12 単位が卒業要件単位にプラスされた例

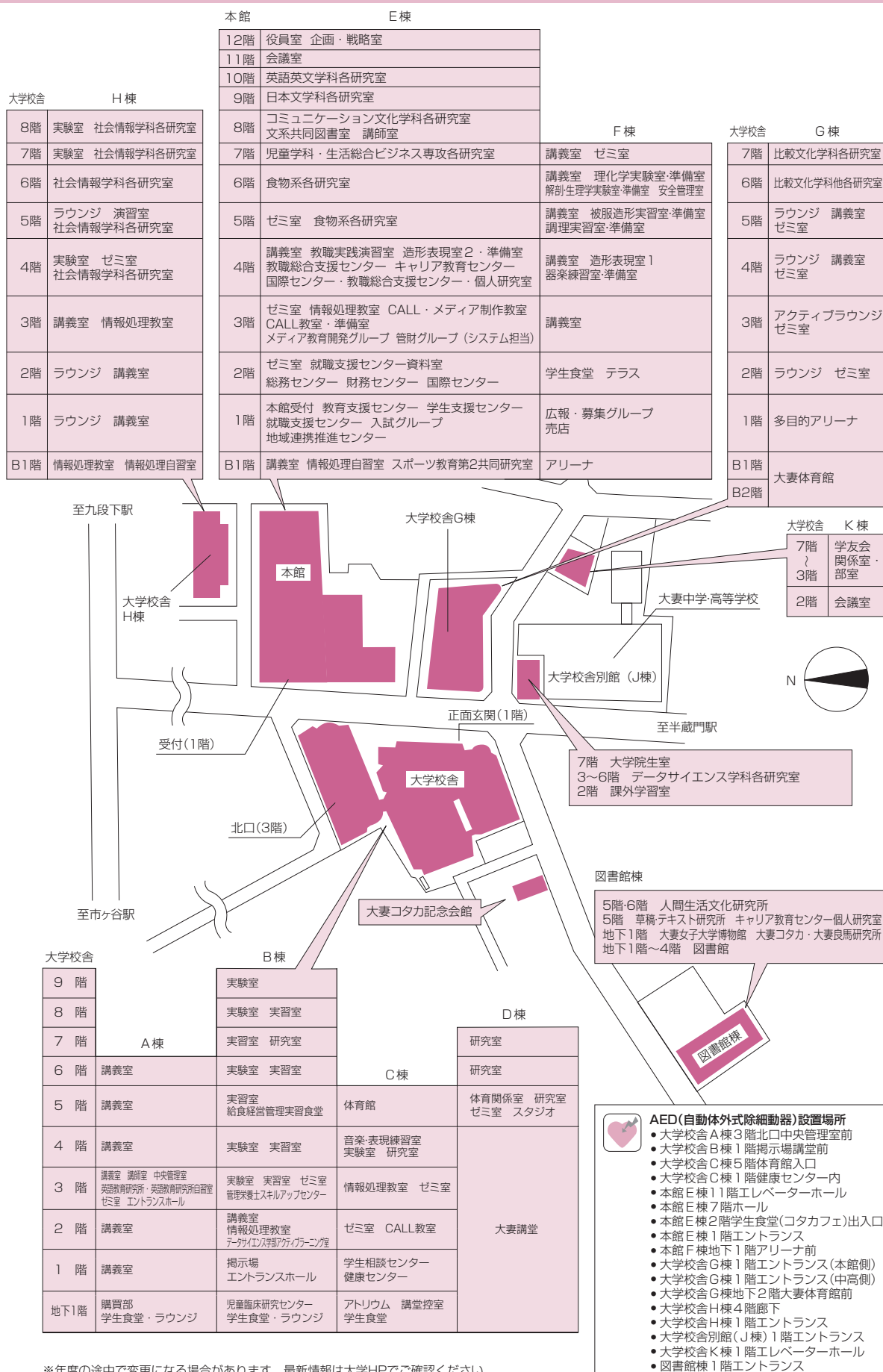
(6) コミュニケーション文化学科例(3 年次から履修) ※必修 ○選択必修 △選択 ★実践研修機関の科目

3 年次	4年次
※日本語学要説 ※日本語教授法Ⅰ ※日本語教材研究Ⅰ ※日本語教育学特殊講義(社会と言語) ※日本語教育学特殊講義(心理と言語) ※ことばの仕組みと働き ○日本語教材研究Ⅱ ○日本語教育学演習Ⅰ	※日本語教育実習Ⅰ ※日本語教育実習Ⅱ★ ○言語文化論 △日本語と社会 △社会言語学 △国際関係論

※ 12 単位が卒業要件単位にプラスされた例

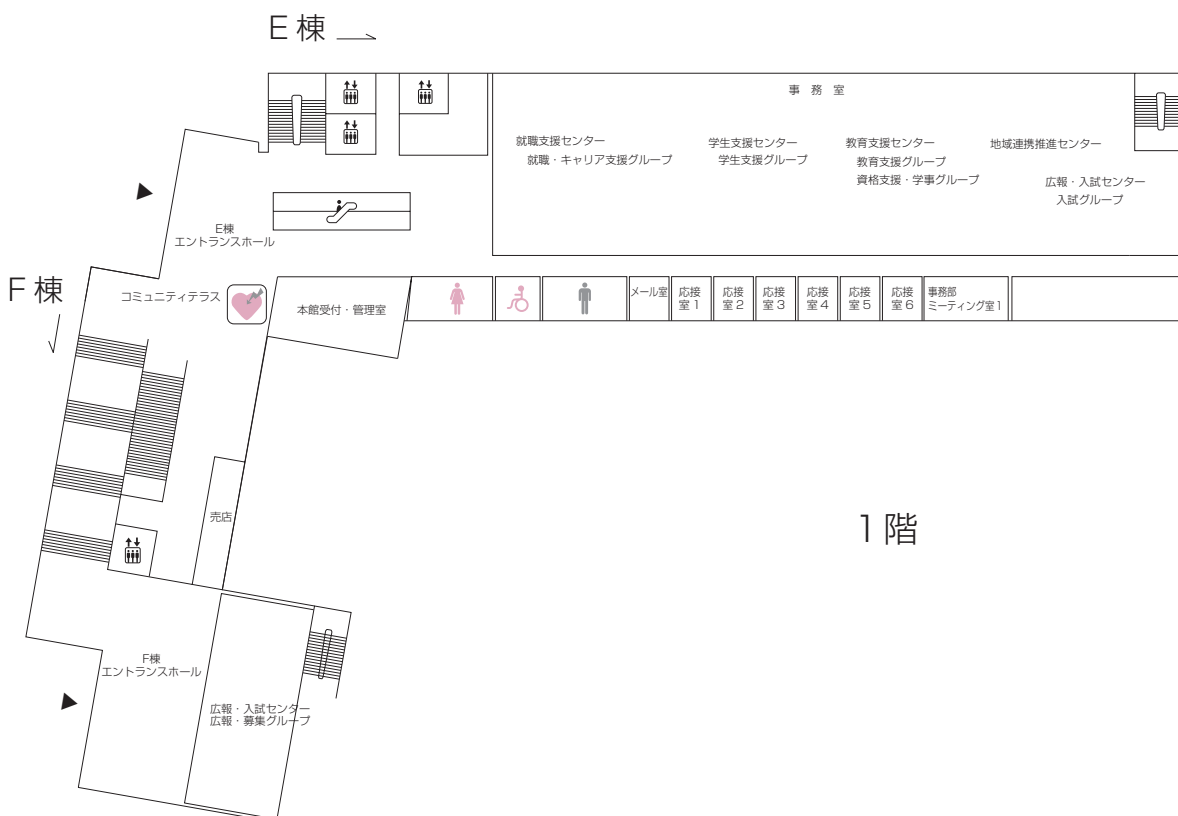
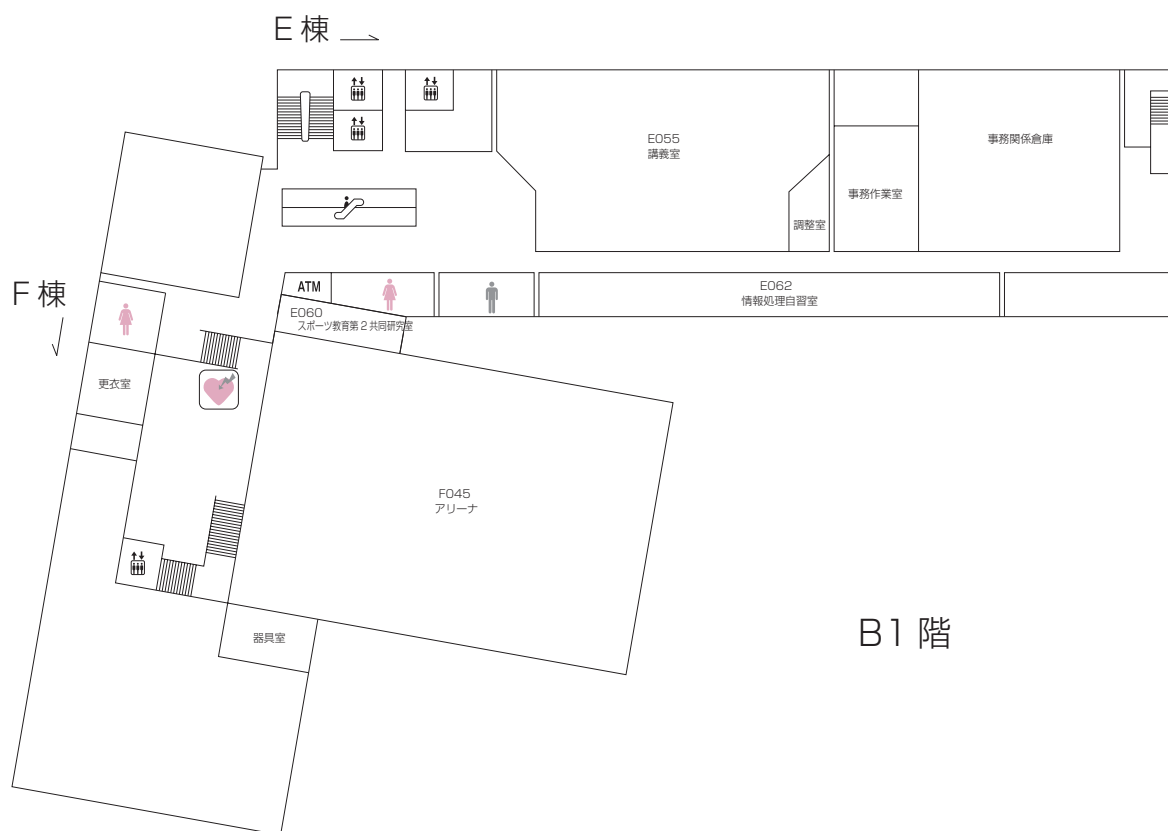
校舎配置図及び見取図

千代田校舎配置図

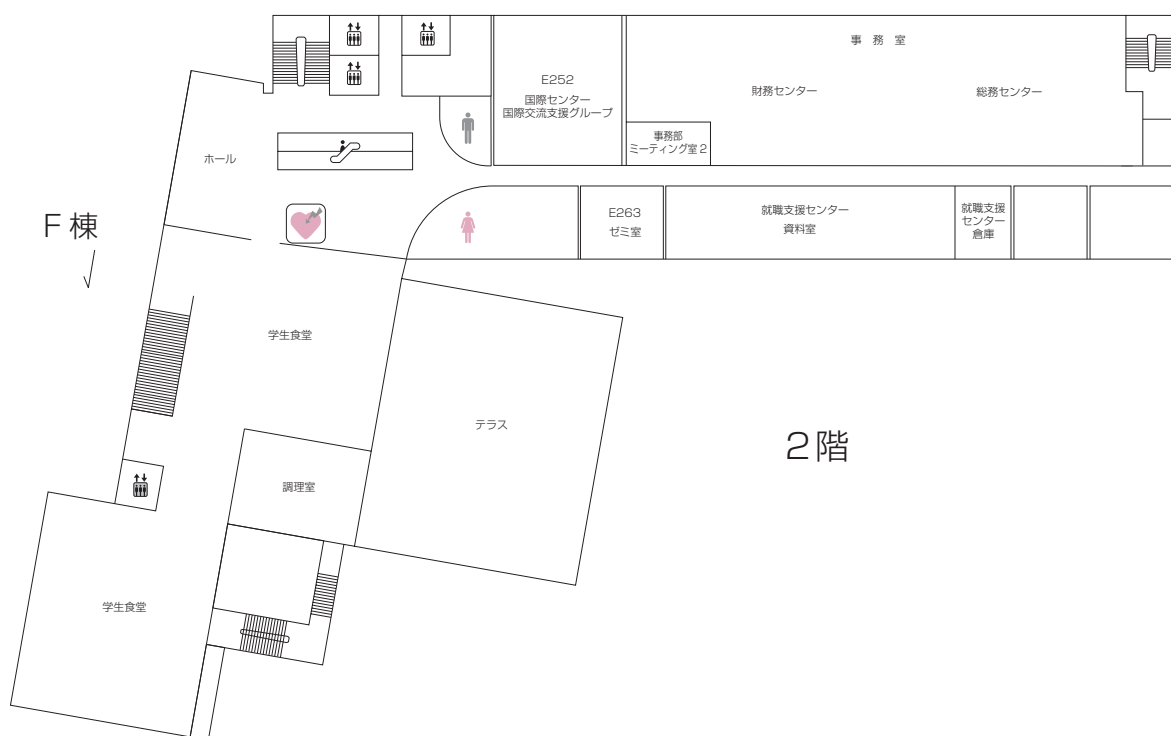


千代田校舎見取図

本館

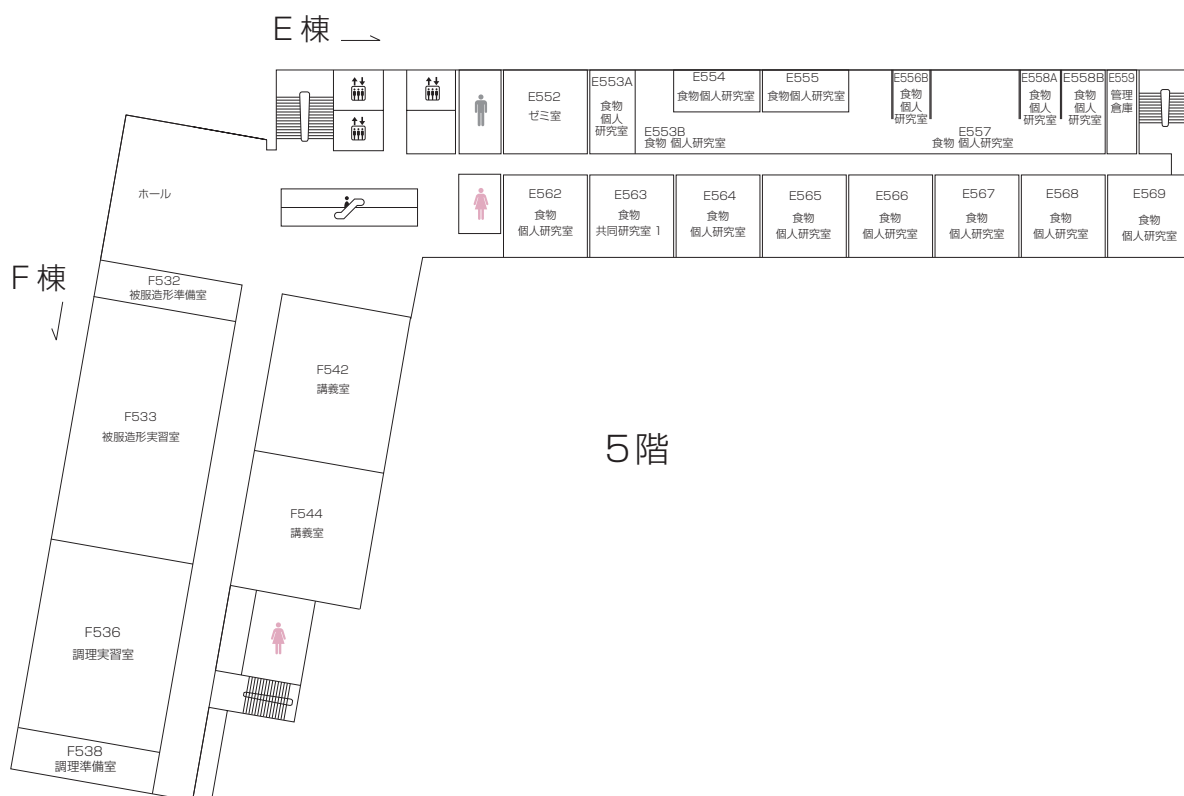
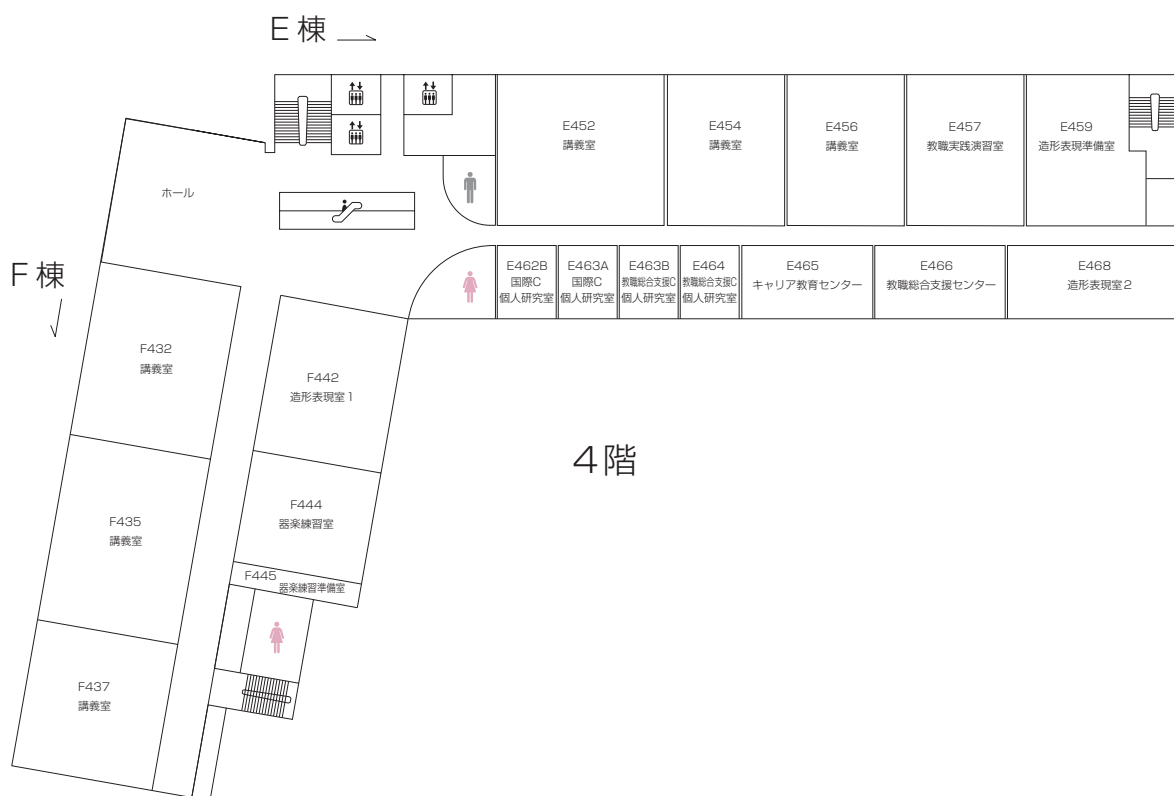


E 棟

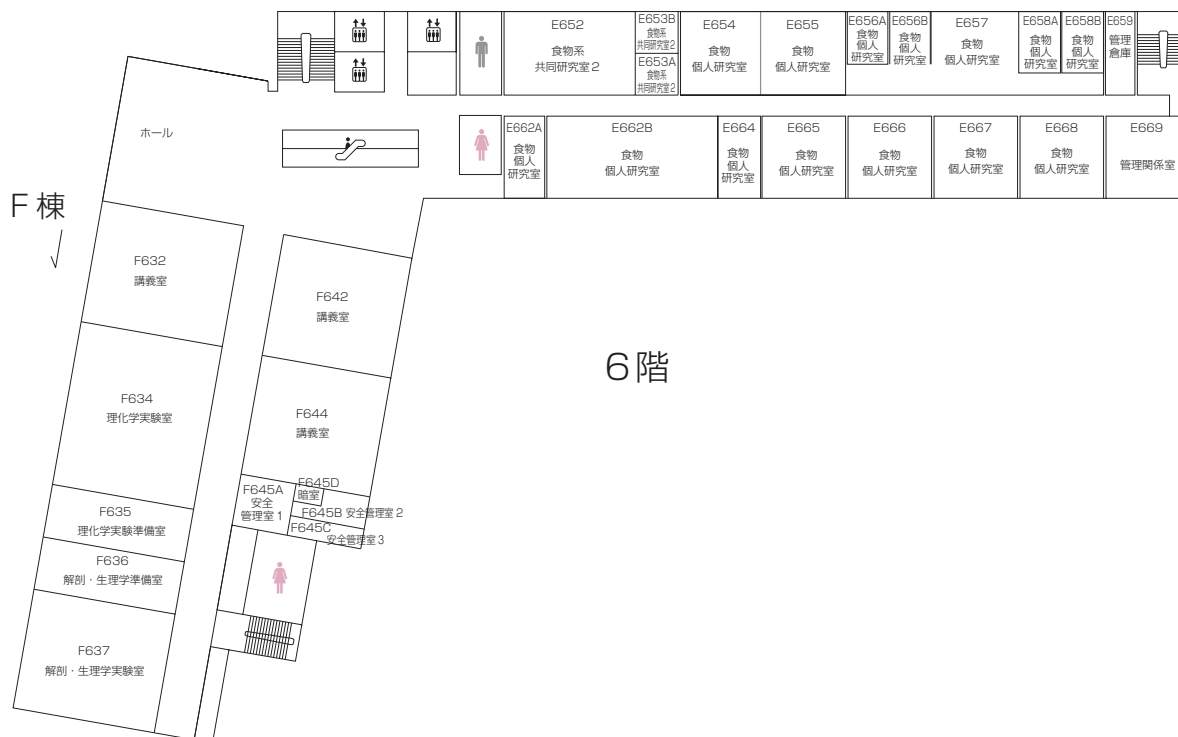


E 棟

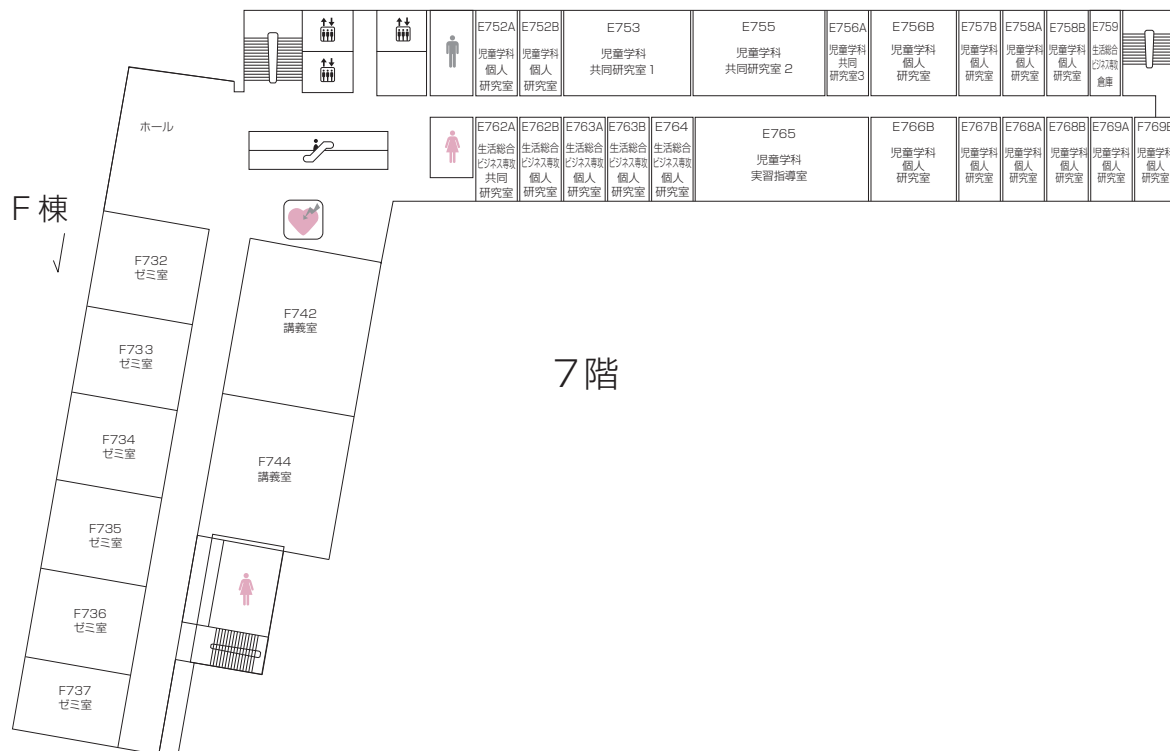




E 棟



E 棟



8階

E棟



9階

E棟

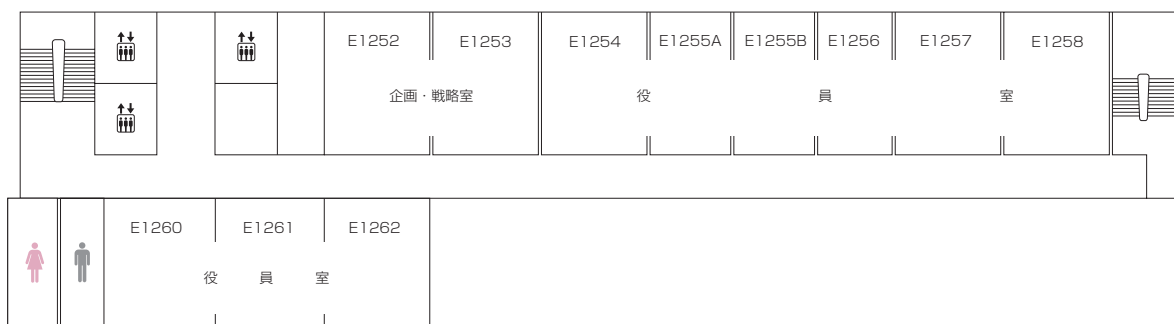


E棟 

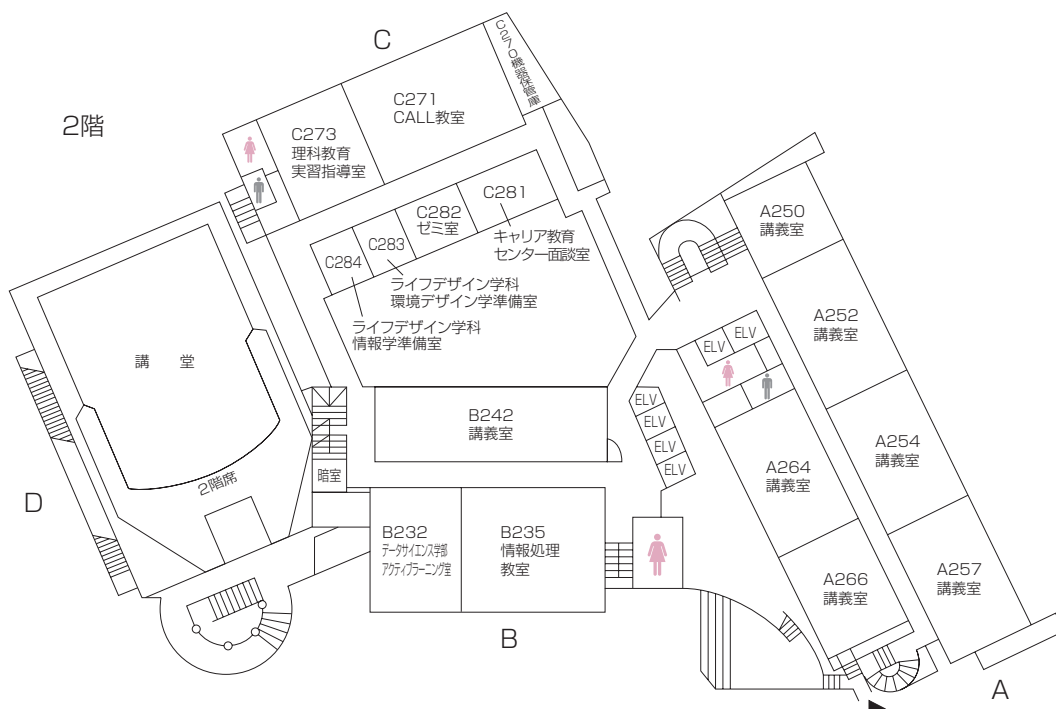
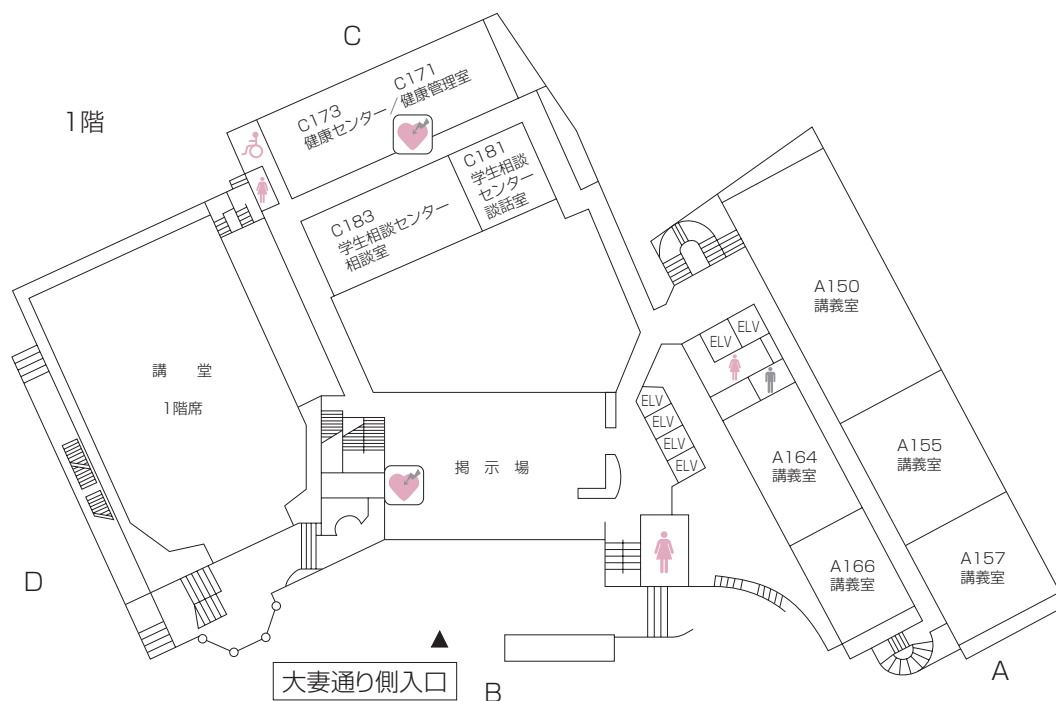
E棟

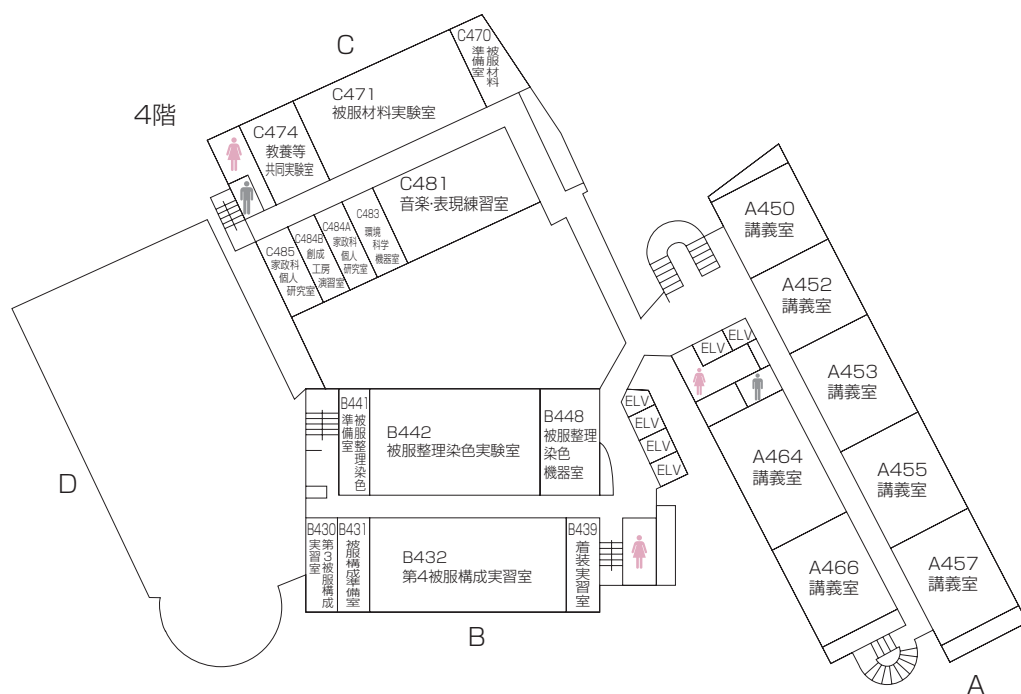


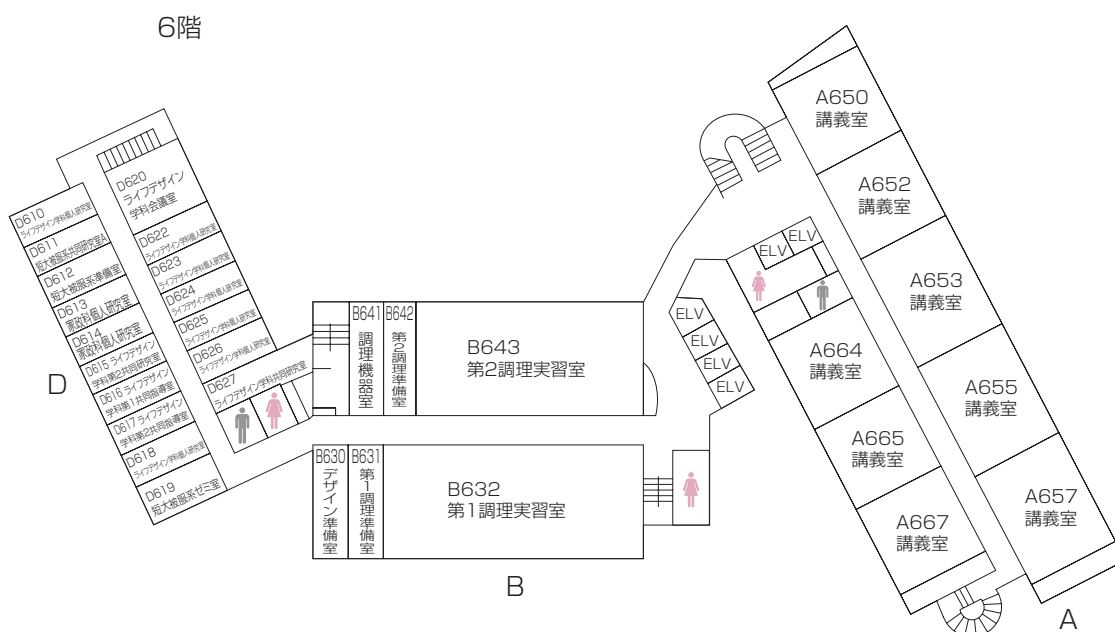
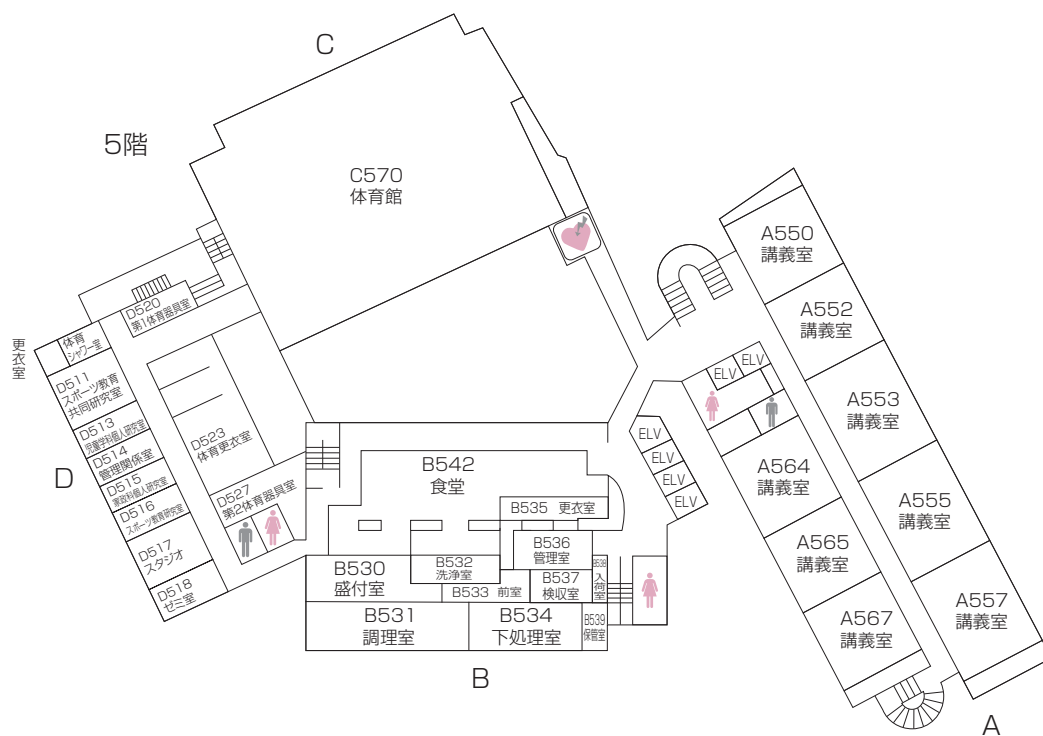
E 棟 $\rightarrow$



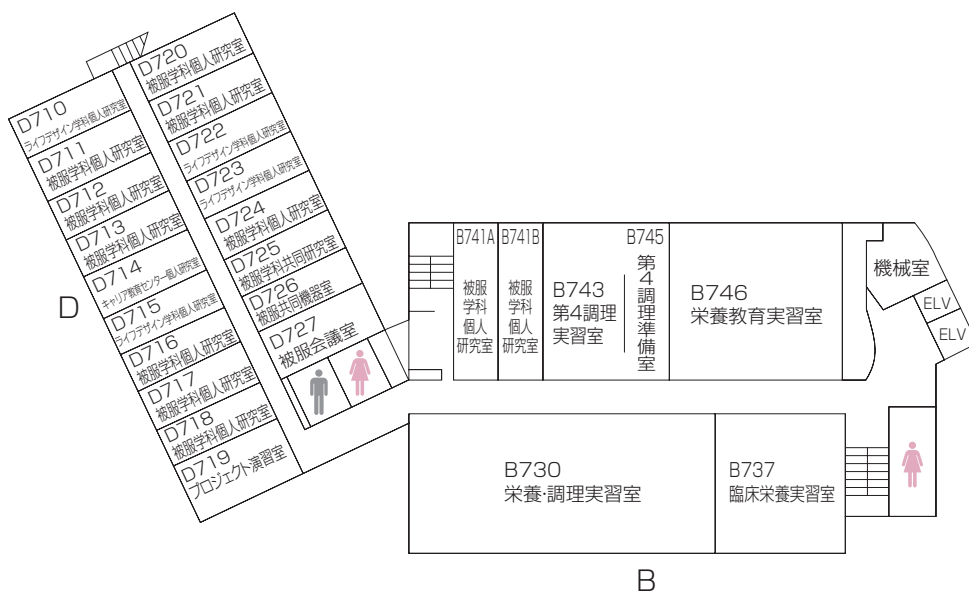




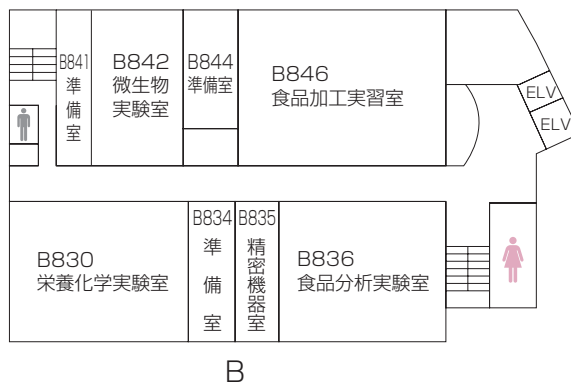




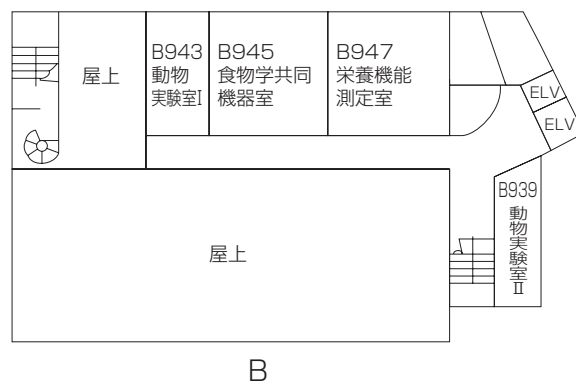
7階



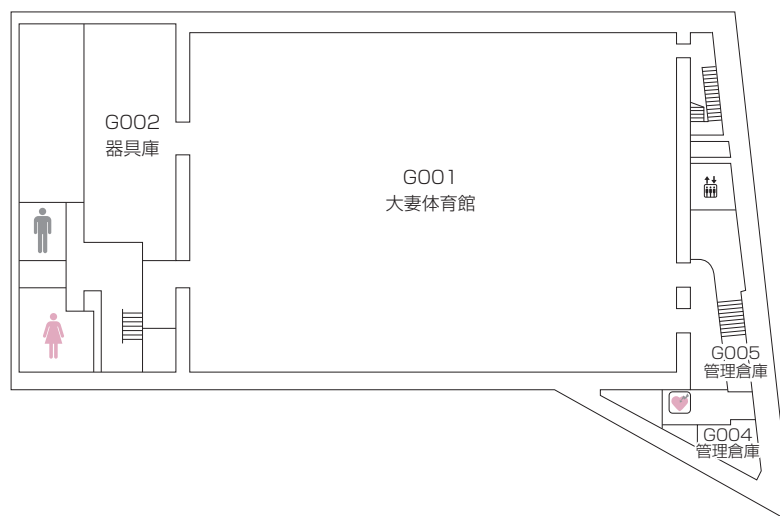
8階



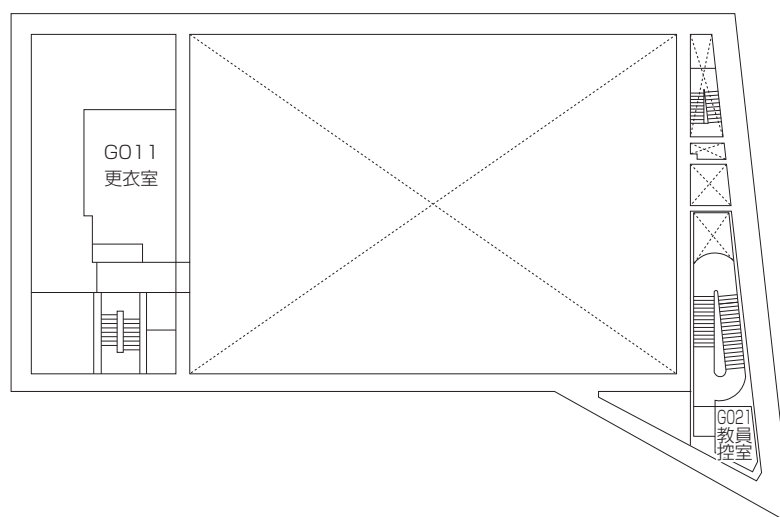
9階



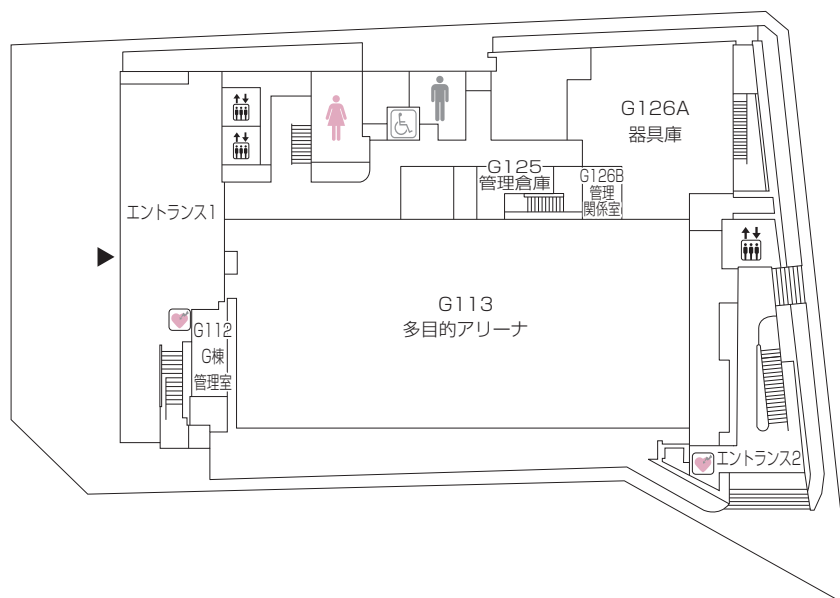
G 棟 地下2階



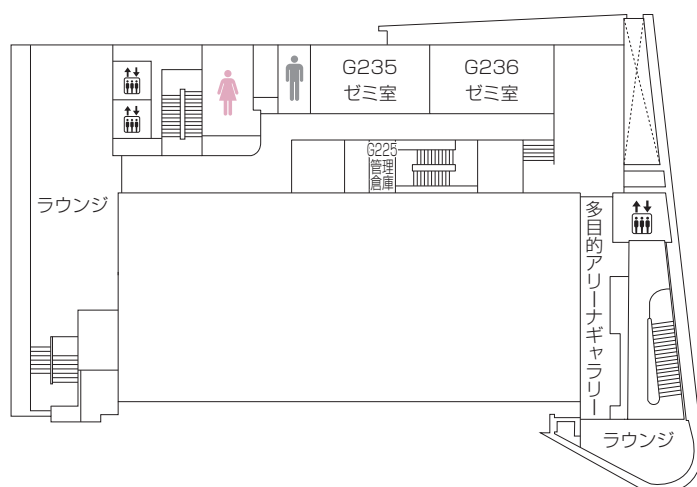
G 棟 地下1階



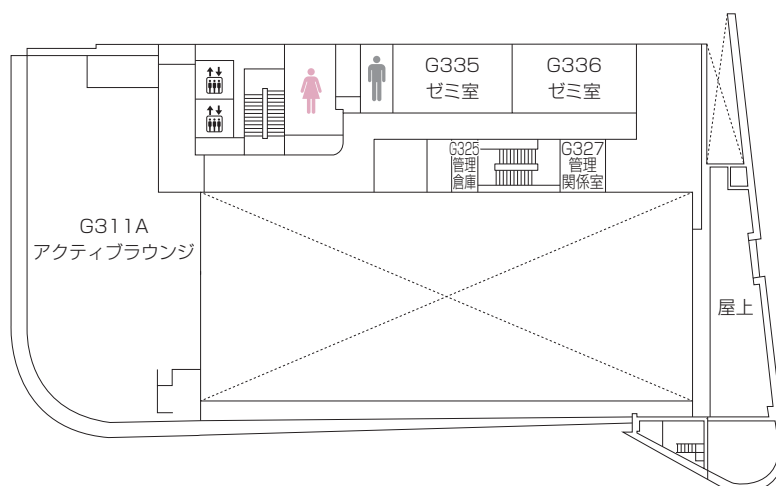
G 棟 1階



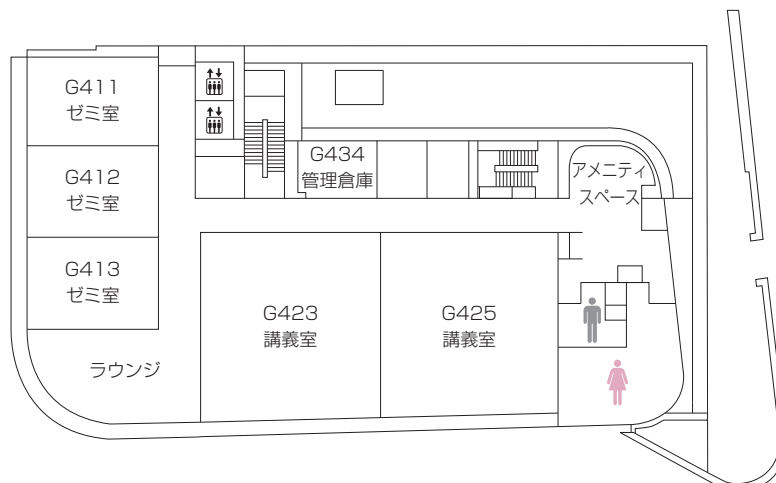
G棟 2階



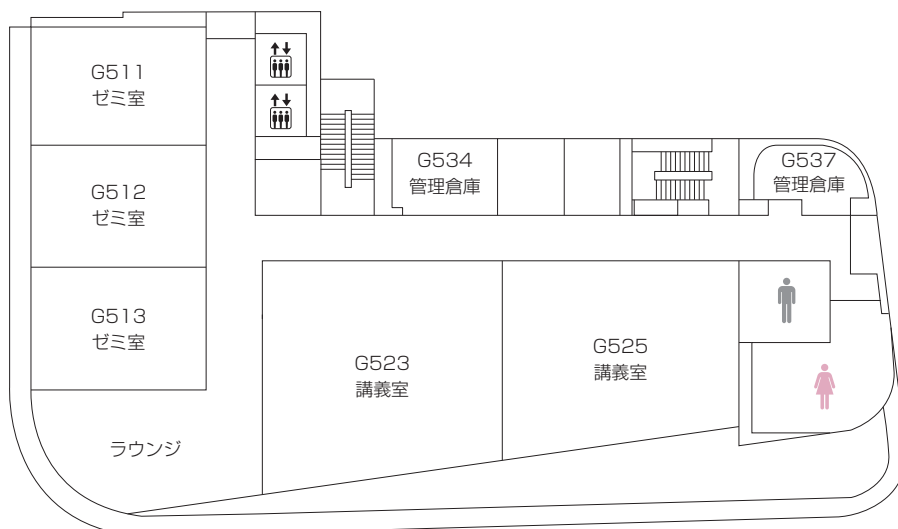
G棟 3階



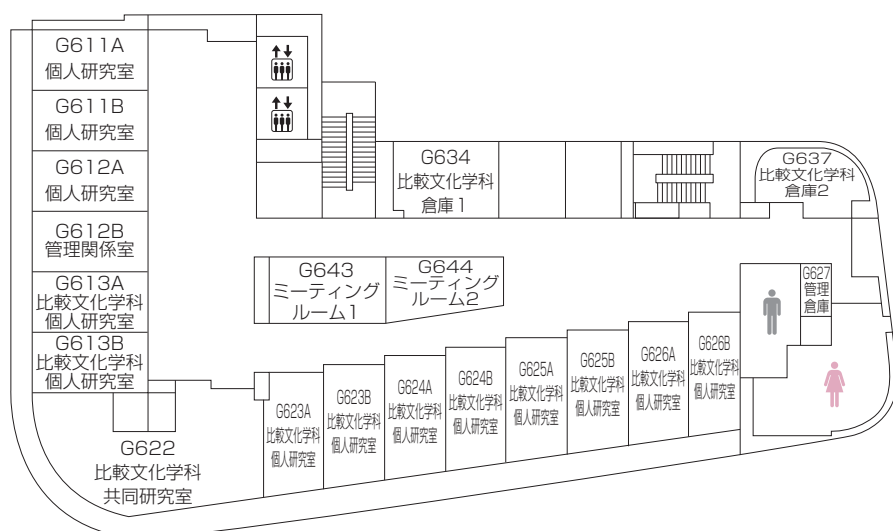
G棟 4階



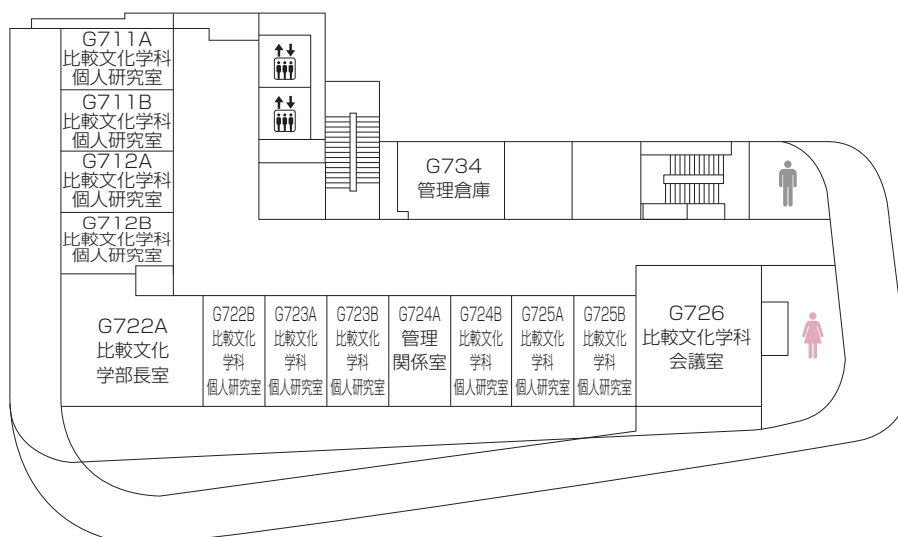
G棟 5階



G棟 6階



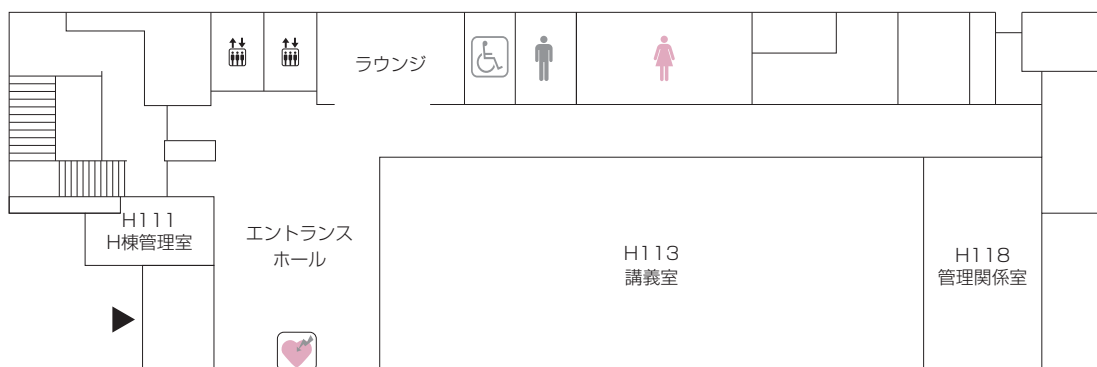
G棟 7階



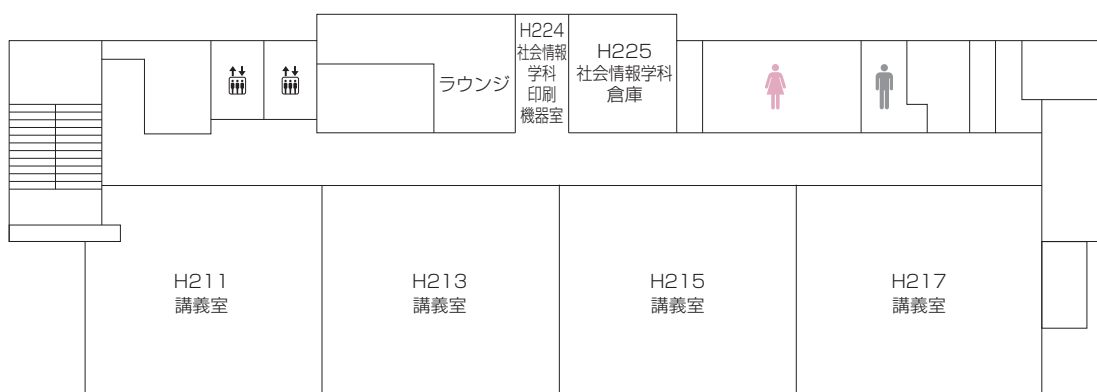
H棟 地下1階



H棟 1階



H棟 2階



H棟 3階



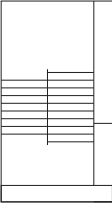
H棟 4階



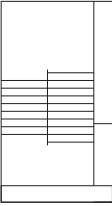
H棟 5階



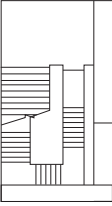
H棟 6階

				H623 社会情報学科 個人研究室	H624 社会情報学科 個人研究室	H625 社会情報学科 個人研究室	H626 社会情報学科 個人研究室	H627 社会情報学科 個人研究室			
				H613 社会情報学科 個人研究室	H614 社会情報学科 個人研究室	H615 社会情報学科 個人研究室	H616 社会情報学科 個人研究室	H617 社会情報学科 個人研究室	H618 社会情報学科 個人研究室		

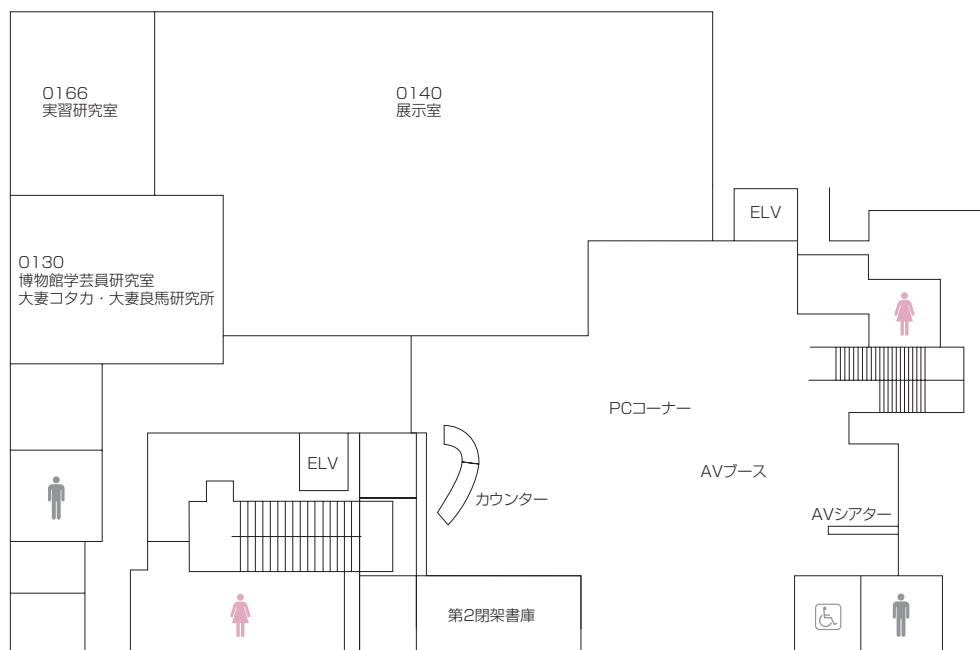
H棟 7階

				H723 情報デザイン 実験室4	H724 情報デザイン 実験室5	H725 情報デザイン 実験室6	H726 情報デザイン 実験室6	H727 情報デザイン 実験室6			
				H713 社会情報学科 個人研究室	H714 社会情報学科 個人研究室	H715 社会情報学科 個人研究室	H716 社会情報学科 個人研究室	H717 社会情報学科 個人研究室	H718 社会情報学科 個人研究室		

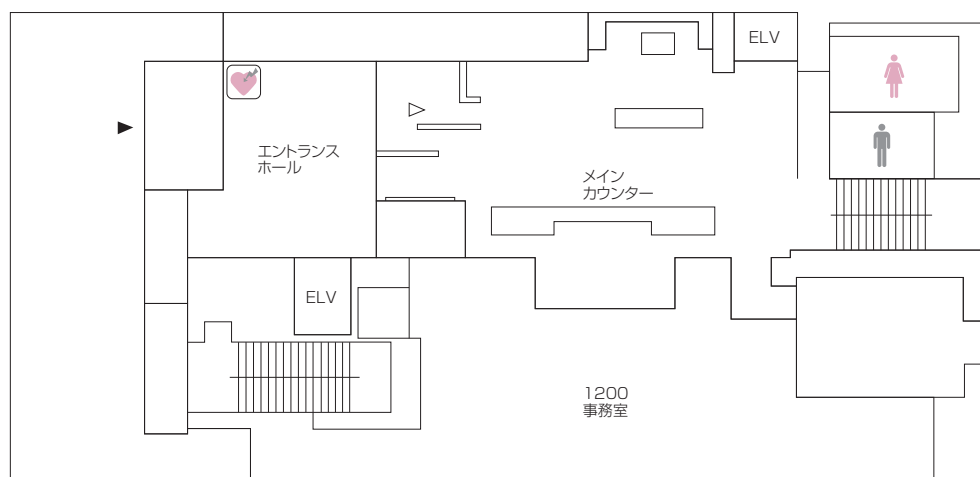
H棟 8階

				H823 社会情報学科 個人研究室	H824 情報デザイン 実験室1	H825 情報デザイン 実験室2	H826 情報デザイン 実験室3	H827 情報デザイン 実験室3			
				H813 社会情報学科 個人研究室	H814 社会情報学科 個人研究室	H815 社会情報学科 個人研究室	H816 社会情報学科 個人研究室	H817 社会情報学科 個人研究室	H818 社会情報学科 個人研究室		

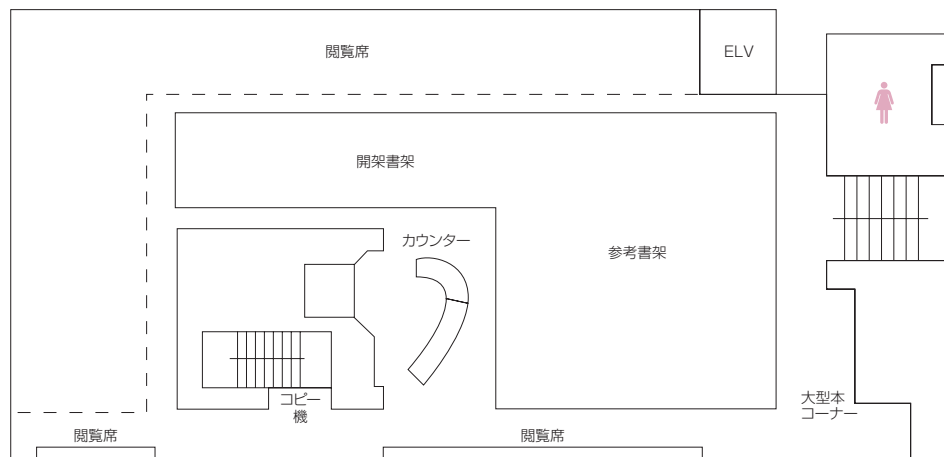
地下1階



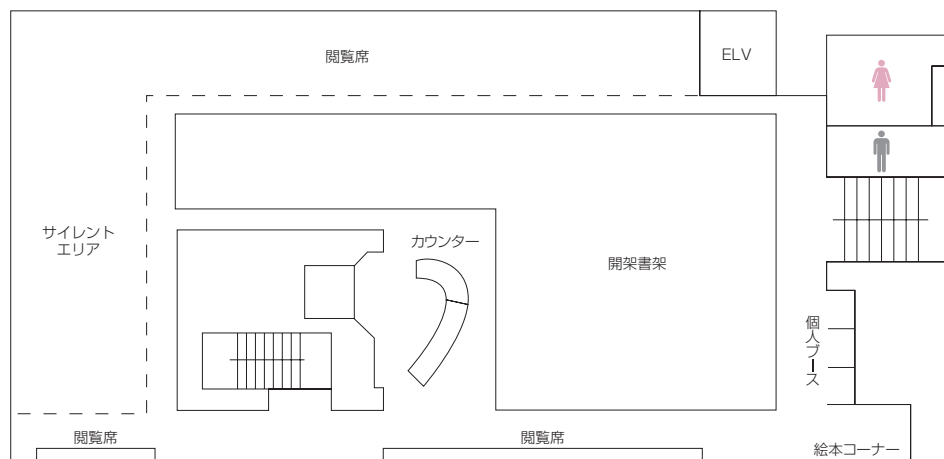
1階



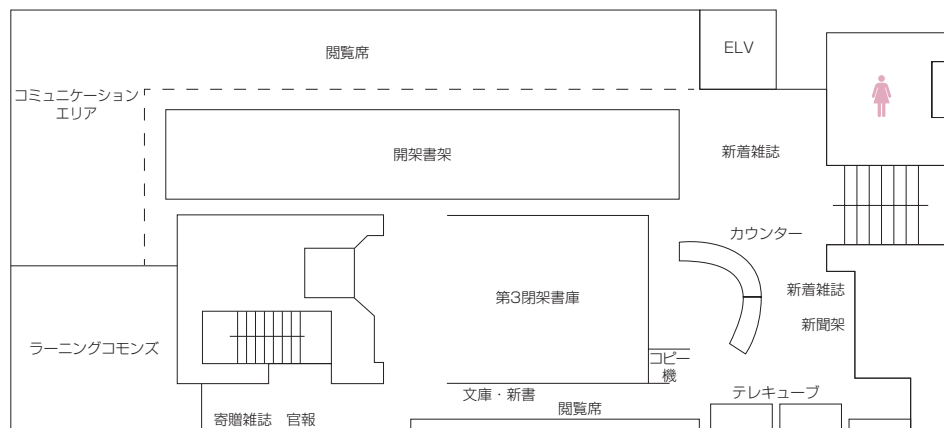
2階



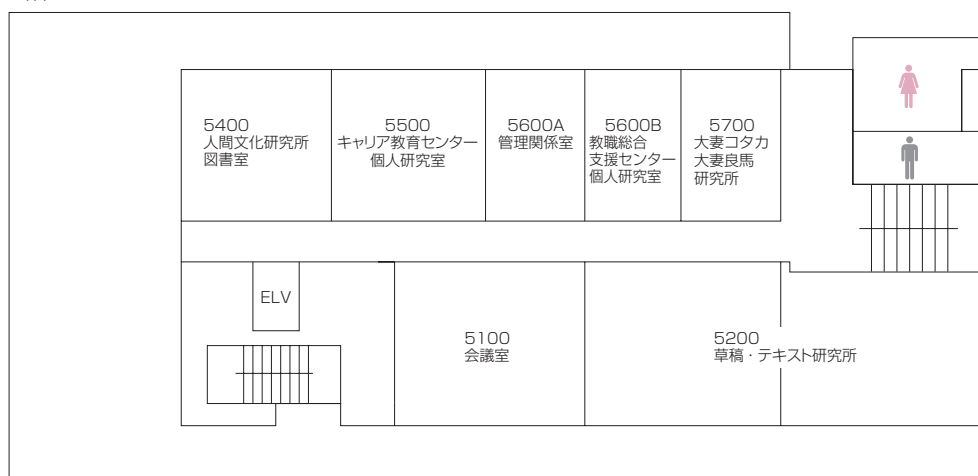
3階



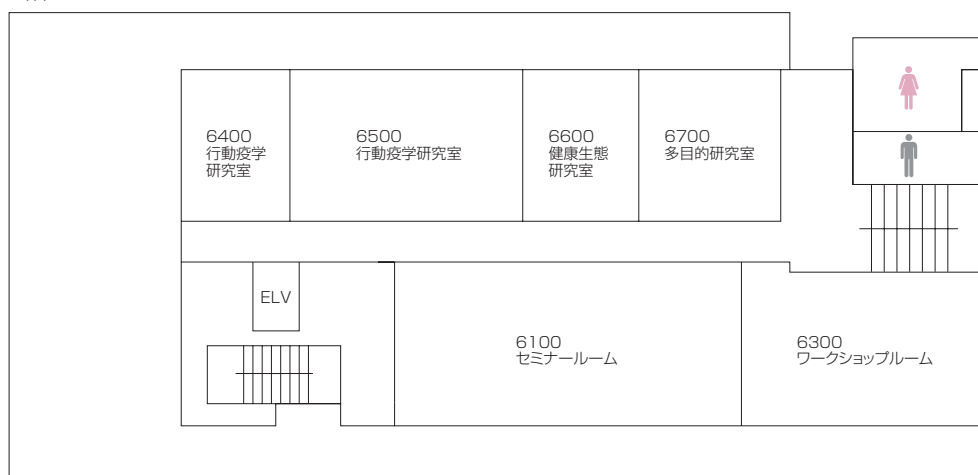
4階



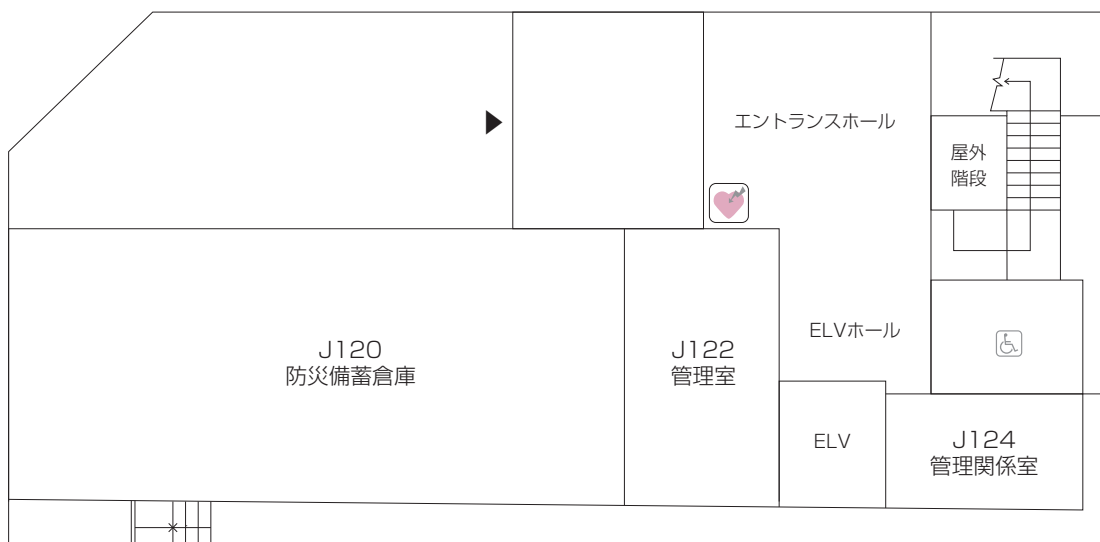
5階



6階



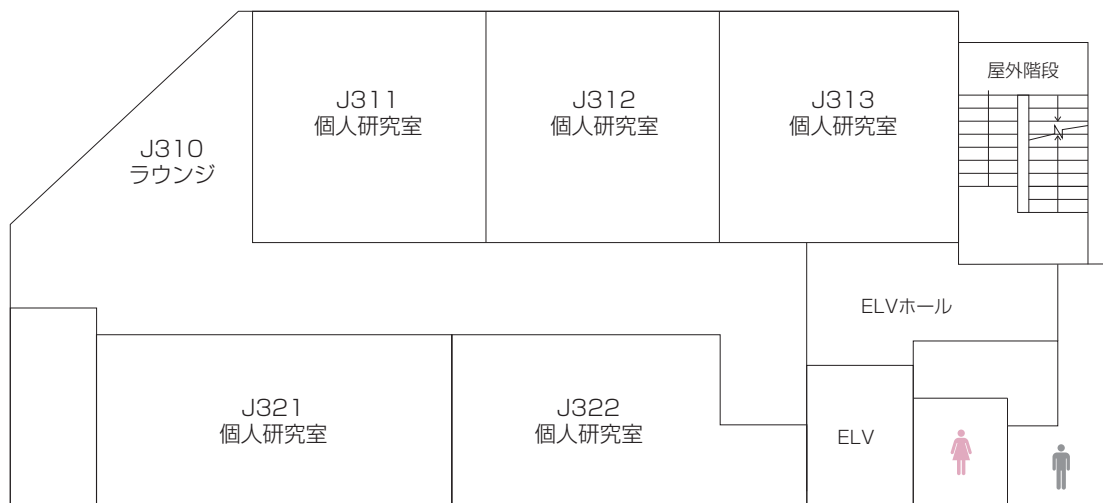
1階



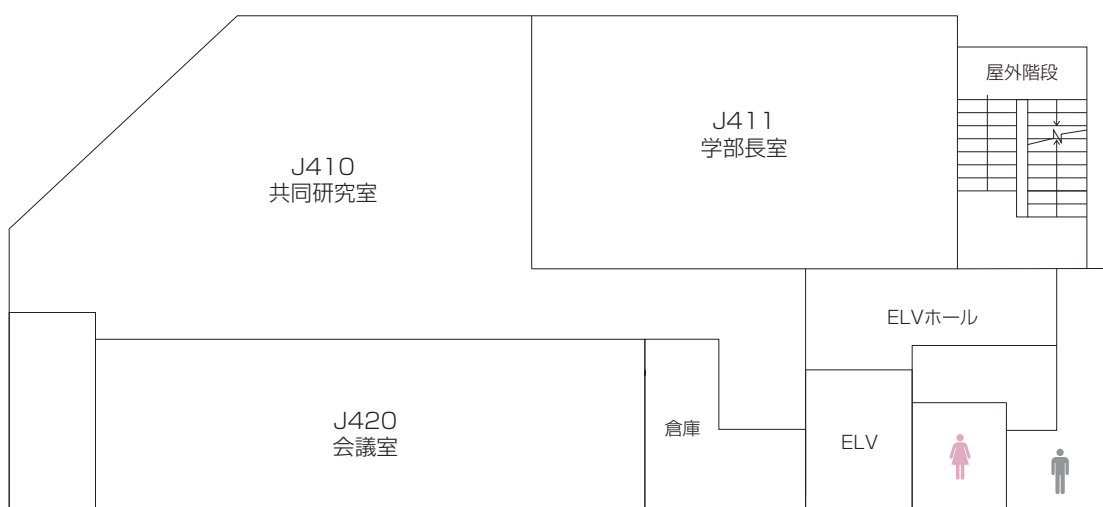
2階



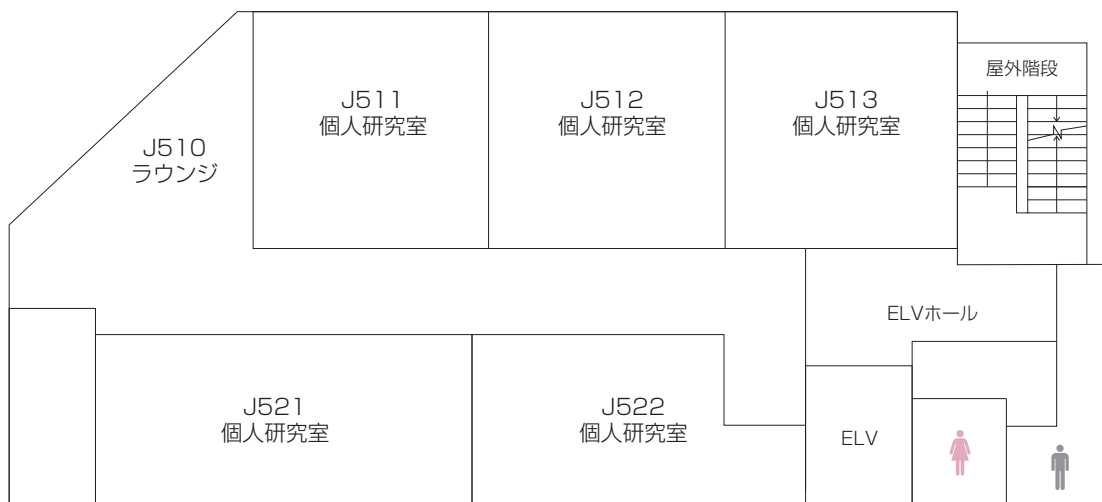
3階



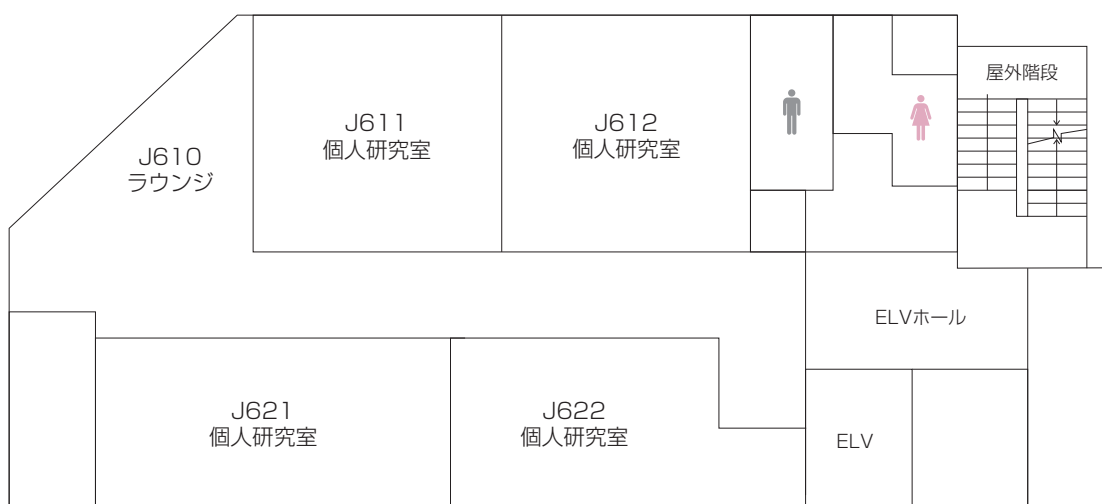
4階



5階

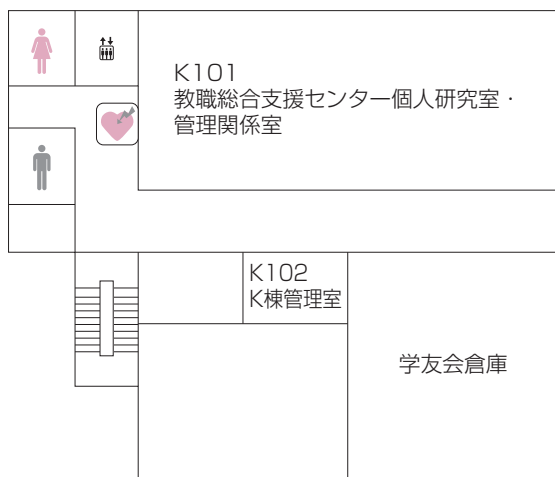


6階

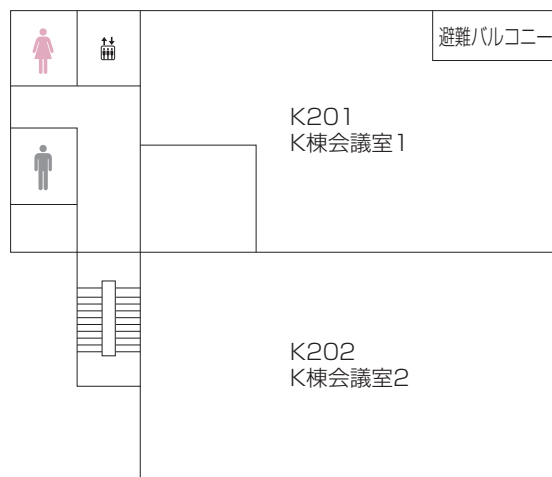


7階

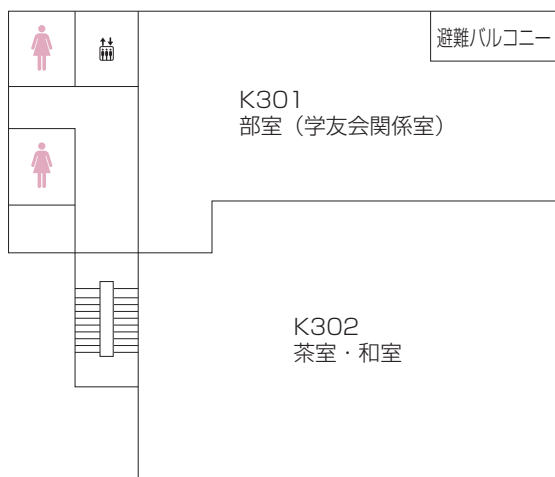




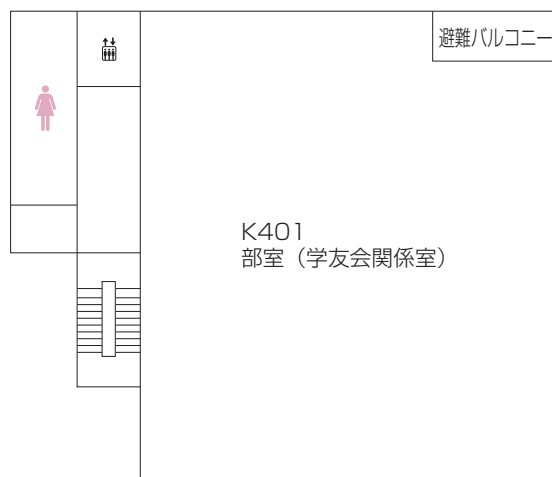
1階



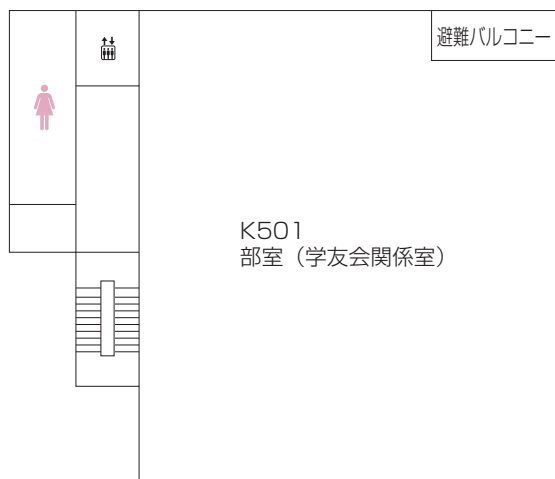
2階



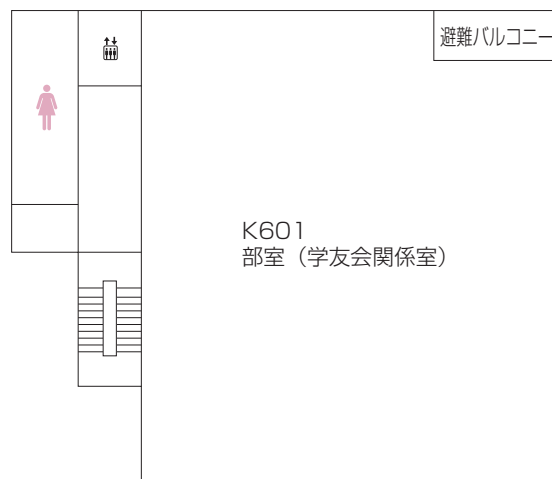
3階



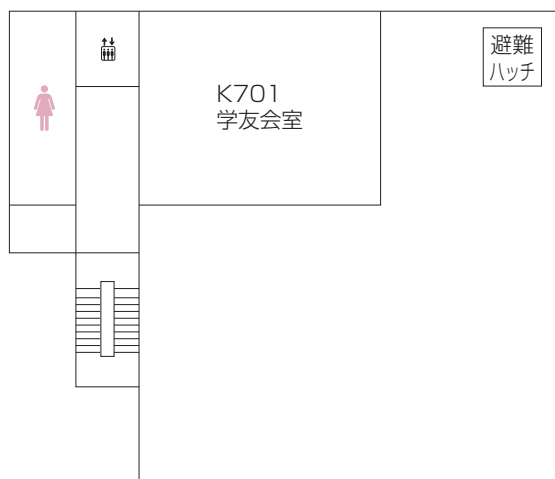
4階



5階



6階



7階

千代田キャンパス 講義室、ゼミ室等の収容定員、および視聴覚設備設置一覧

2025年06月01日現在

建物名	階数	棟名	教室番号	定員	移動機	教室仕様	利用可能メディア								映像提示機器					マイク					備考					
							VHS	BD	DVD	CD	カセット	SDカード (録音再生)	教材提示	常設PC	持込PC (RGB)	持込AV (HDMI)	持込AV (RCA)	プロジェクター	スクリーン	ディスプレイ	暗幕	ダウンライト	ワイヤレスマイク			有線マイク		その他機能		
																							ハンド型	タイプン型	同時使用可能本数	常設	最大接続可能本数	収録	教室間中継	遠隔講義システム
大学校舎	1F	A棟	A150	315		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●	2台	●電動	●	3本	3本	(3)	●	(4)	●	●★		
			A155	168		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●(2台)	●(2面)		ロール電動	●	3本	3本	(3)	●	(3)	●	●◎	●	
			A157	132		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		ロール電動	●	3本	3本	(3)	●	(1)		●◎		
			A164	135		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	3本	3本	(3)	●	(1)		●◎		
			A166	107		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ		3本	3本	(3)	●	(1)		●◎		
	2F	A棟	A250	80		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		2本	2本	(2)	●	(1)		●◎		
			A252	150		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	3本	3本	(3)	●	(1)		●◎		
			A254	150		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		ロール電動	●	2本	2本	(2)	●	(1)				
			A257	150		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		ロール電動	●	2本	2本	(2)	●	(1)				
			A264	135		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ		3本	3本	(3)	●	(1)		●◎		
			A266	107		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	2本	2本	(2)	●	(1)		◎		
		B棟	B242	66	●	AV教室		●				●	●		○		●4台サブ3	●4面白板3		ブ		1本	1本	(2)			・電子黒板 3台			
		C棟	C271	64		CALL	●	●		●		●	●	○	○	○	●	●	32台	●電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)				
			C282	20	●	ゼミ室	●	●					▲	○	○変換使用		○VHS			1台	●									
	3F	A棟	A353	22	●	ゼミ室		●				●	●	○	○	○	●	白板		ブ										
			A354	12	●	ゼミ室	●	●					▲		○	○VHS			1台	ブ										
			A355	22	●	ゼミ室		●				●	●	○	○	○	●	白板		ブ										
			A356	22	●	ゼミ室		●				●	●	○	○	○	●	白板		ブ										
			A357	42	●	ゼミ室	●	●				●	●	○	○	○VHS	●	白板		ブ					●	(1)				
		C棟	C370	60		情報処理	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●	30台	●電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)				
			C373	60		情報処理	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●	30台	●電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)				
			C381	24	●	ゼミ室		●				●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)				
	C382	24	●	ゼミ室		●				●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						

凡例(※数字は設置数)(※中継:一方通行、遠隔:双方向)
●:常設 ●ピ:ビデオ出力(光学式でない為画質がやや劣る) ブ:ブラインド ロール:ロールスクリーン ▲:常設だがケーブルの接続が必要 ★:校舎・キャンパス間中継時経由教室 ◎A150中継可能教室
○:持込可 ○VHS:VHSデッキ経由

千代田キャンパス 講義室、ゼミ室等の収容定員、および視聴覚設備設置一覧

2025年06月01日現在

建物名	階数	棟名	教室番号	定員	移動機	教室仕様	利用可能メディア									映像提示機器					マイク					備考				
							VHS	BD	DVD	CD	カセット	SDカード (録音再生)	教材提示	常設PC	持込PC (RGB)	持込AV (HDMI)	持込AV (RCA)	プロジェクター	スクリーン	ディスプレイ	暗幕	ダウンライト	ワイヤレスマイク			有線マイク		その他機能		
																							ハンド型	タイプン型	同時使用可能本数	常設	最大接続可能本数	収録	教室間中継	遠隔講義システム
大学校舎	4F	A棟	A450	72		AV教室	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	2本	2本	(2)	●	(1)						
			A452	72		AV教室	●	●				●	●	○	○	○	●(2台)	●	ブ		1本	1本	(2)	●	(1)					
			A453	90	●	AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	3本	3本	(3)	●	(1)				
			A455	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A457	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A464	135		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●電動	●	2本	2本	(2)	●	(1)				
			A466	107		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
	5F	A棟	A550	72		簡易AV	●	●				●	●			○VHS	●	●		ブ		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A552	72		簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				
			A553	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A555	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○VHS	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A557	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A564	72		AV教室	●	●				●	●	○	○	○	●	●		●	●	2本	2本	(2)	●	(1)				
			A565	72		簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				
			A567	71		簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				
		D棟	D517			スタジオ													●						(1)	●				
	D518		36	●	ゼミ室	●	●				●	▲	○	○	○	●	白板	2台	●		1本	1本	(2)		(1)					
	6F	A棟	A650	72	●	簡易AV	●	●				●	●	○	○	○VHS	●	●		ブ		1本	1本	(2)	●	(1)				
			A652	72	●	簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				
			A653	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A655	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A657	108		AV教室	●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●		●		1本	1本	(1)	●	(1)				
			A664	72		AV教室	●	●				●	●	○	○	○	●	●		●	●	2本	2本	(2)	●	(1)				
			A665	72		簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				
			A667	71		簡易AV	●	●				●	●	○	○	○	●	●		ブ					●	(1)				

凡例(※数字は設置数)(※中継:一方通行、遠隔:双方向)
●:常設 ●ピ:ビデオ出力(光学式でない為画質がやや劣る) ブ:ブラインド ロール:ロールスクリーン ▲:常設だがケーブルの接続が必要 ★:校舎・キャンパス間中継時経由教室 ◎A150中継可能教室
○:持込可 OVHS:VHSデッキ経由

千代田キャンパス 講義室、ゼミ室等の収容定員、および視聴覚設備設置一覧

2025年05月01日現在

建物名	階数	棟名	教室番号	定員	移動機	教室仕様	利用可能メディア										映像提示機器					マイク					備考			
							VHS	BD	DVD	CD	カセット	SDカード (録音再生)	教材提示	常設PC	持込PC (RGB)	持込AV (HDMI)	持込AV (RCA)	プロジェクター	スクリーン	ディスプレイ	暗幕	ダウンライト	ワイヤレスマイク			有線マイク		その他機能		
																							ハンド型	タイプン型	同時使用可能本数	常設	最大接続可能本数	収録	教室間中継	遠隔講義システム
本館	B1F	E棟	E055	340		AV教室		●		●	●	●	○	○	○	●(3台)	●(3面)		ロール電動	●	4本	4本	(4)	●	(6)	●	●★	●		
	2F	E棟	E263	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
	3F	E棟	E352	60		情報処理		●		●	●	○	○	○	●	●	30台	ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)						
			E354	60		情報処理		●		●	●	○	○	○	●	●	30台	ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)						
			E356	40		CALL・メディア		●		●	●	○	○	○	●	●	20台	ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)						
			E358	36		CALL		●		●	●	○	○	○	●	●	18台	ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)						
			E362	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
		F棟	F332	168		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●	2台	ブ電動	●	3本	1本	(4)	●	(1)		●				
			F335	168		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●	2台	ブ電動	●	3本	1本	(4)	●	(1)		●				
			F337	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			F342	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			F344	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●			●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
	4F	E棟	E452	90	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			E454	110		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			E456	110		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			E457	66	●	教職実践演習室		●		●	▲	○	○	○	●(5台)	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)	電子黒板×1					
		F棟	F432	168		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●	2台	ブ電動	●	3本	1本	(4)	●	(1)		●				
			F435	168		AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●	2台	ブ電動	●	3本	1本	(4)	●	(1)		●				
	F437	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●						
	5F	E棟	E552	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
		F棟	F542	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			F544	117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
	6F	F棟	F632	84	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			F642	84	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
			F644	84	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●				
	7F	F棟	F732	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
			F733	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
			F734	24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)						
F735			24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)							
F736			24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)							
F737			24	●	ゼミ室		●		●	▲	○	○	○			1台	ブ					○	(1)							
F742			117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●					
F744			117	●	AV教室		●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動	●	1本	1本	(2)	●	(1)		●					

凡例 (※数字は設置数)(※中継:一方通行、遠隔:双方向)
●:常設 ブ:ブラインド ロール:ロールスクリーン ▲:常設だがケーブルの接続が必要 ★:校舎・キャンパス間中継時経由教室 ○:持込可

千代田キャンパス 講義室、ゼミ室等の収容定員、および視聴覚設備設置一覧

2025年05月01日現在

建物名	階数	棟名	教室番号	定員	移動機	ホワイトボード	教室仕様	利用可能メディア							映像提示機器					マイク					備考				
								VHS	BD	DVD	CD	カセット	SDカード・ (録音再生)	教材提示	常設PC	持込PC (RGB)	持込AV (HDMI)	持込AV (RCA)	プロジェクター	スクリーン	ディスプレイ	暗幕	ダウンライト	ワイヤレスマイク			有線マイク		その他機能
																								ハンド型	タイプン型	同時使用可能本数	常設	最大接続可能本数	
大学校舎（G棟）	2F	G棟	G235	24	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ロール									
			G236	24	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ロール									
	3F	G棟	G335	24	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ロール									
			G336	24	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ロール									
			G311A	42/ 119	●		アクティブラウンジ			●	●		●	●	○	○	○	●	● ガラス		ブ電動	●	2本	2本	(4)	●	(1)	講義スペース：42名 全体：119名	
	4F	G棟	G411	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ									
			G412	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ									
			G413	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ									
			G423	130	●	●	AV教室			●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)		
			G425	130	●	●	AV教室			●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)		
	5F	G棟	G511	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ									
			G512	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ									
			G513	35	●	●	ゼミ室			●		●	●	○	○	○			1台	ブ						○	(1)		
			G523	130	●	●	AV教室			●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)		
			G525	105	●	●	AV教室			●	●		●	●	○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)		

凡例（※数字は設置数）
●：常設 ブ：ブラインド ロール：ロールスクリーン ○：持込可

千代田キャンパス 講義室、ゼミ室等の収容定員、および視聴覚設備設置一覧

2025年05月01日現在

建物名	階数	棟名	教室番号	定員	移動機	教室後方 ホワイトボード	教室仕様	利用可能メディア										映像提示機器					マイク					備考	
								VHS	BD	DVD	CD	カセット	SD カード (録音 再生)	教材 提示	常設 PC	持込 PC (RGB)	持込 AV (HDMI)	持込 AV (RCA)	プロ ジェク ター	スクリーン	ディス プレイ	暗幕	ダウン ライト	ワイヤレスマイク			有線マイク		その他機能
																								ハンド 型	タイ ピン 型	同時 使用 可能 本数	常設	最大 接続 可能 本数	
大学校舎（H棟）	B1F	H棟	H011	34			情報処理			●	●			○	○	○	●	●	17台	ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H013	72			情報処理			●	●			○	○	○	●	●	36台	ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H016	72			情報処理			●	●			○	○	○	●	●	36台	ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
	1F	H棟	H113	230			AV教室			●	●			○	○	○	●	●	4台	ブ電動	●	4本	4本	(4)	●	(1)			
	2F	H棟	H211	74			AV/情報			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)	学生用PC(74台)		
			H213	78			AV/情報			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)	学生用PC(78台)		
			H215	78	●	●	AV教室			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H217	77	●	●	AV教室			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
	3F	H棟	H311	34			情報処理			●	●			○	○	○	●	●	17台	ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H313	50	●	●	AV教室			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H314	50	●	●	AV教室			●	●			○	○	○	●	●		ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
			H316	64			情報処理			●	●			○	○	○	●	●	32台	ブ電動		1本	1本	(2)	●	(1)			
	4F	H棟	H411	24	●	●	ゼミ室			●				○	○	○			1台	ブ									
			H412	24	●	●	ゼミ室			●				○	○	○			1台	ブ									
			H413	24	●	●	ゼミ室			●				○	○	○			1台	ブ									
			H414	24	●	●	ゼミ室			●				○	○	○			1台	ブ									
			H415	24	●	●	ゼミ室			●				○	○	○			1台	ブ									

凡例（※数字は設置数）
●:常設 ブ:ブラインド ○:持込可